

ビデオカメラ レコーダー Hi8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

とにかく
撮って見る
4 ページ

準備
8 ページ

撮る
13 ページ

見る
19 ページ

使いこなす
24 ページ

その他
77 ページ



video Hi8 XR
Handycam

CCD-TRV95K

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

ファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

目次

とにかく撮って見る	4
うまく撮る姿勢	6

準備

準備1 バッテリーを取り付ける	8
準備2 バッテリーを充電する	9
準備3 カセットを入れる	11
準備4 ファインダーを調節する	12

撮る

撮影する	13
撮影内容を確認する	18

見る

再生する	19
テレビで見る	22

使いこなす

撮影	
逆光を補正する	24
効果的な場面転換をする - フェーダー	25
暗闇で撮る - NIGHTSHOT(ナイトショット)	27
横長の画面にする - ワイドTVモード	28
画像に特殊効果を加える - ピクチャーエフェクト	29
静止画を撮る - フォトモード撮影	30
撮影中の画像に静止画を重ねる - スチル	32
コマ送りの画像を撮る - フラッシュモーション	33
静止画に動画をはめ込む - ルミナンスキー	35
尾を引く画像を撮る - トレイル	37
低速シャッターで撮る - スローシャッター	38
昔の映画のように撮る - オールドムービー	39
画像の明るさを調節する	40
目的に合わせて撮る - プログラムAE	41
手動でピントを合わせる	43
手ぶれ補正を解除する	44
タイトルを入れる	45
タイトルを作る	47

撮影中に手動で日時を記録する	49
ある部分だけ撮り直す	50
テープに合わせてきれいに撮る - ORC設定	51

再生

画像にデジタルエフェクトを加えて見る	52
撮影日時を画面に出す - データコード	53
撮影日の変わり目を探す	54
見たい場面にすばやく戻す - ゼロメモリー ..	55
各場面の頭出しをする - インデックス機能 ..	56

編集

記録済みのテープにRCタイムコードを打ち込 む	59
他のビデオへ録画する	60
ビデオやテレビの画像を録画する	61
記録済みテープに新しく画像を挿入する	62
その他の使いかた	
バッテリー以外の電源で使う	64
メニューで設定を変える	65
液晶画面の色のこさを調節する	72
日付・時刻を合わせ直す	73
時差補正	75

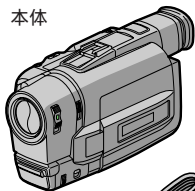
その他

ボタン型リチウム電池を交換する	77
使えるビデオカセットと記録・再生方式	78
“インフォリチウム”バッテリーをご利用いた くために	79
故障かな?と思ったら	80
警告表示とお知らせメッセージ	84
自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が 出たら	86
お手入れ	87
主な仕様	88
保証書とアフターサービス	89
海外で使うとき	89
各部のなまえ	90
用語解説	97
索引	99
こんなときはこの機能	裏表紙

とにかく撮って見る

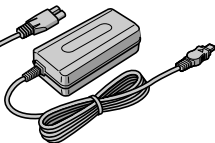
必要なもの

本体

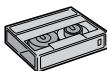


電源コード
(ACパワーアダプターに付属)

ACパワー
アダプター

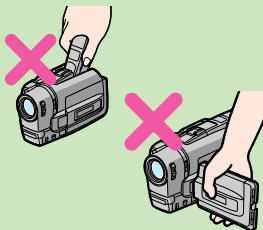


8ミリビデオカセット(別売り)



Hi8マークのついたHi8(ハイエイト)テープをおすすめします。

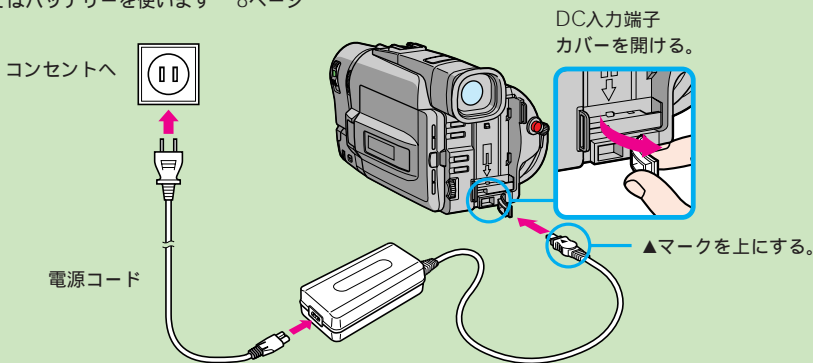
ビューファインダーや液晶画面をつかんで、本機を持ち上げないでください。



1

電源をつなぐ(64ページ)

屋外ではバッテリーを使います 8ページ

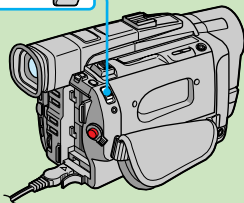


2

カセットを入れる(11ページ)

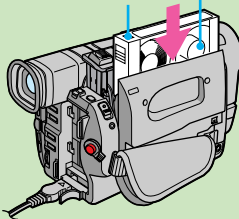
- ① カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

押しながら

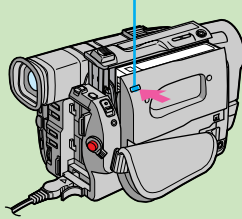


- ② テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にしてカセットを入れる。

ツマミ テープ窓

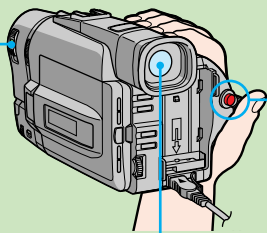


- ③ **PUSH** マークを押して、カセット入れを閉める。(カセット入れは自動で下がります。)



3

撮影する (13ページ)

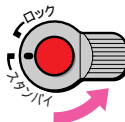


ファインダー
この部分に目を当てて画
像を見ます。

- ① 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。



- ② スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
ファインダーに画像が見える。



- ③ 赤いボタンを押す。
撮影が始まる。
もう1度押しと止まる。

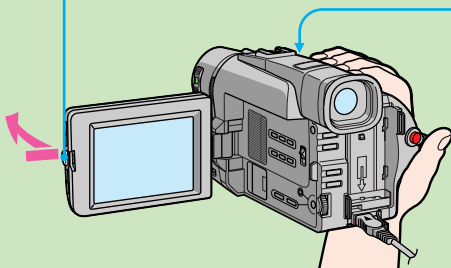


とにかく撮って見る

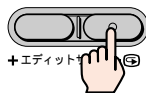
4

撮影できたか、ちょっと確認する (18ページ)

- ① 液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。



- ② エディットサーチ \oplus ボタンをポンと1回押す。
最後に撮影した場面を数秒間液晶画面で見られる。



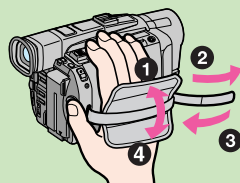
本機の機能が一覧できるデモンストレーションが見られます (71ページ)。

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないように、安定した姿勢で撮影しましょう。

アイカップを目に
しっかりあてる。

グリップベルトを
しっかりしめる。



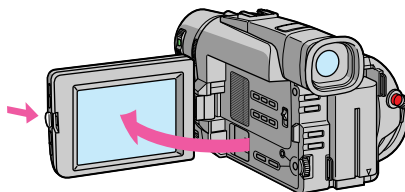
右わきをしめる。

マイクに手が触れ
ないようにする。

左手はハンディカムの下
にそえて安定させる。

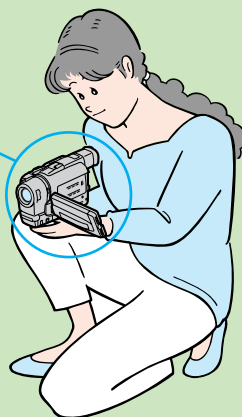
体がふらつかないよう
に、少し足を開く。

液晶画面を見ながら撮影するとき



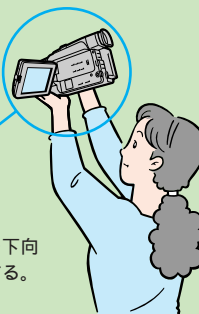
低い位置で撮る姿勢(ローアングル)

液晶画面を上向
きに調節する。



高い位置で撮る姿勢(ハイアングル)

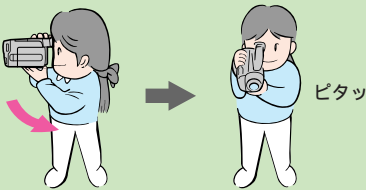
液晶画面を下向
きに調節する。



撮影の基本

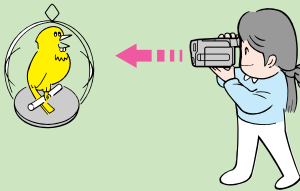
ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき(パンニング)は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。



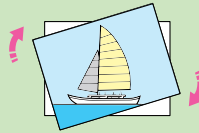
ズームは多用しない。

ズームレバーをW側(Wide: 広角)にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側(Telephoto: 望遠)にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。



安定した画面にする。

- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。

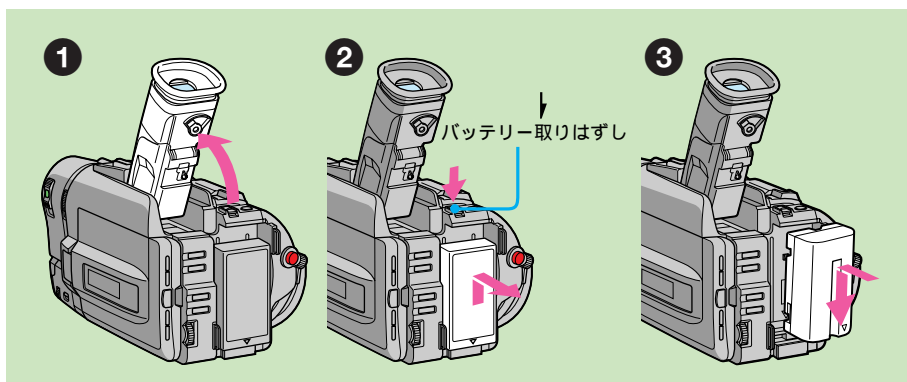


- 三脚を使う。
ネジの長さが6.5mm未満のものをお使い下さい。ネジの長い三脚ではしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。


逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

準備1 バッテリーを取り付ける



バッテリーを取り付けた後はバッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー対応です。“インフォリチウム”バッテリーには  InfoLITHIUM マークがついています。

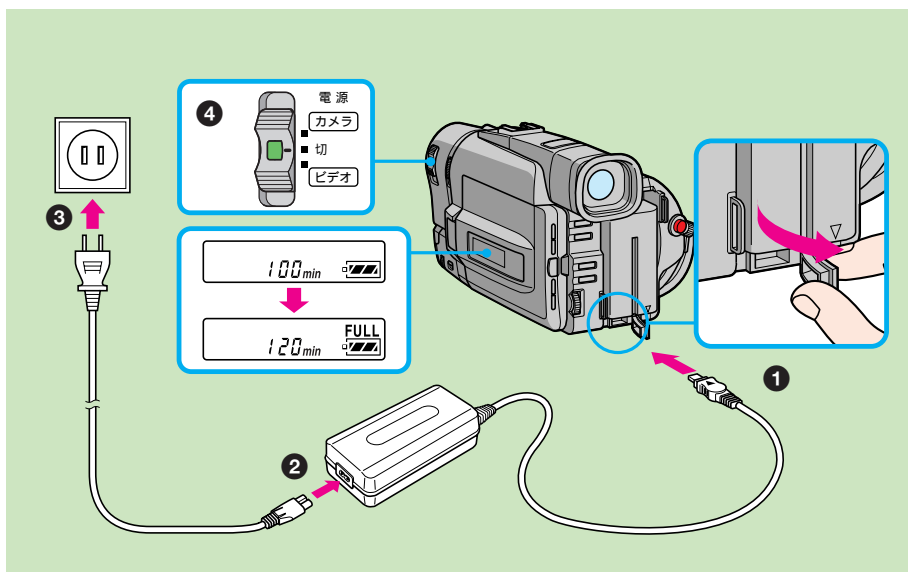
InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。

- 1 ビューファインダーを上げる。
- 2 バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリー端子カバーを上へずらし、取りはずす。
- 3 バッテリーを押しながら下へずらす。
バッテリーは本体に確実に取り付ける。

本体から取りはずす

手順2のようにして取りはずす。

準備2 バッテリーを充電する



ご注意

ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

表示窓に表示されるバッテリー残量時間はビューファインダーでの連続撮影時間の目安です。実際の連続撮影時間とは異なることがあります。

はじめてバッテリーを使うときバッテリー残量が表示窓に表示される場合があります。これは工場では若干充電して出荷するため、この場合十分な充電はされていません。再充電されることをおすすめします。

バッテリー残量を計算するまでは表示窓には“ --- min ”が表示されます。


① DC入力端子カバーを開け、ACパワーアダプターのコードを▲マークを上にして、本機のDC入力端子につなぐ。

② 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

③ 電源コードをコンセントにつなぐ。

④ 緑のボタンを押しながら、「切」にする。

充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。

充電が終わると、バッテリー残量表示が「」になる（実用充電）。さらに約1時間、「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える（満充電）。



準備2 バッテリーを充電する(つづき)

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC
入力端子から抜いて下さい。

液晶画面とビューファイン
ダーの両方を使って撮影する
とき(16ページ)のバッテ
リーの使用時間は
液晶画面を使つての撮影時間
より若干短くなります。

撮影中のバッテリー残量時間
表示

“インフォリチウム”バッテ
リーをお使いのときは、あと
何分連続撮影で使えるかを表
示します。使用状況や環境に
よっては、正しく表示されな
い場合があります。バッテ
リーが寿命のときはメッセ
ージが出ます。液晶画面を閉じ
たときは、開いてから正しい
残量時間(分)を表示するの
に約1分かかります。

充電時間

バッテリー	満充電時間 (実用充電時間)	
NP-F330(付属)	約150分	(約90分)
NP-F530/CF540/F550	約210分	(約150分)
NP-F730/F750	約300分	(約240分)
NP-F930/F950	約390分	(約330分)

使い切ったバッテリーを充電したときの時間です。

使用時間

バッテリー	ビューファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-F330(付属)	約120(105)分	約60(55)分	約85(75)分	約45(40)分
NP-F530	約205(180)分	約105(95)分	約135(120)分	約70(65)分
NP-CF540	約235(210)分	約120(110)分	約160(145)分	約85(75)分
NP-F550	約240(210)分	約125(110)分	約165(150)分	約90(80)分
NP-F730	約410(370)分	約215(195)分	約285(255)分	約155(140)分
NP-F750	約490(440)分	約255(230)分	約345(305)分	約185(165)分
NP-F930	約650(585)分	約340(310)分	約450(405)分	約245(220)分
NP-F950	約750(675)分	約395(355)分	約525(470)分	約285(255)分

満充電してから使用したときの時間。()内は実用充電してからの時間。

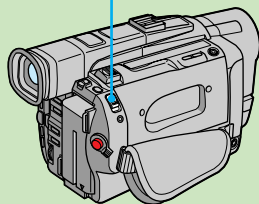
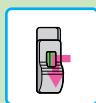
* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

**録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなる場合があります。

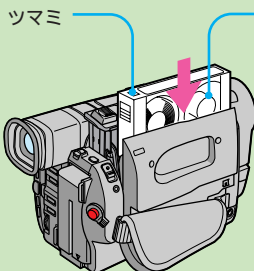
準備3 カセットを入れる

Hi8 (ハイエイト) 方式で記録するときには、**Hi8** マークのついたHi8テープを
使います。

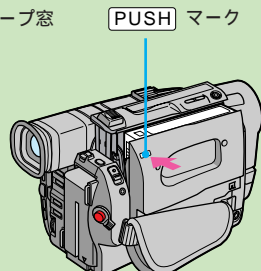
1



2



3



ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

1

カセット取出しスイッチの青いボタンを押し
ながら矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に上がって開く。

2

カセットを入れる。

テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上に入れて
る。

3

PUSH マークを押して、カセット入れを閉め
る。

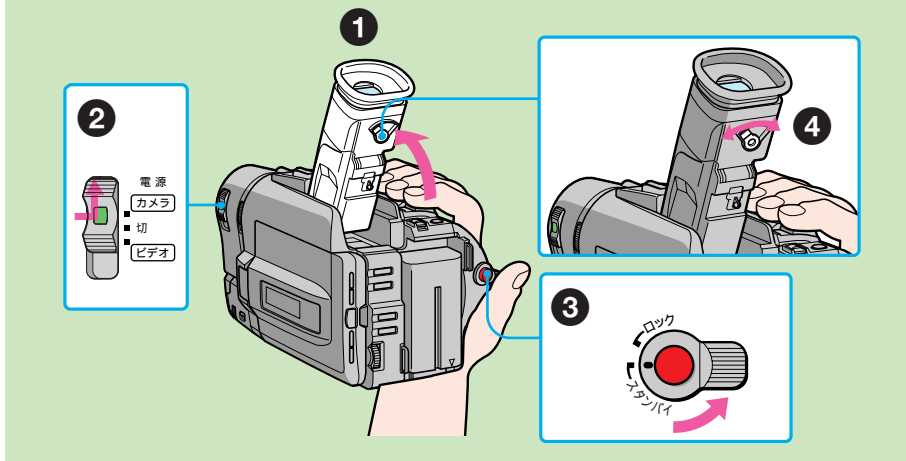
カセット入れが自動的に下がる。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順2で取り出す。

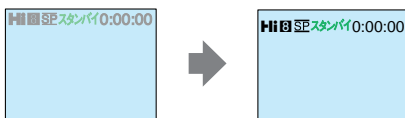
準備4 ファインダーを調節する

ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。



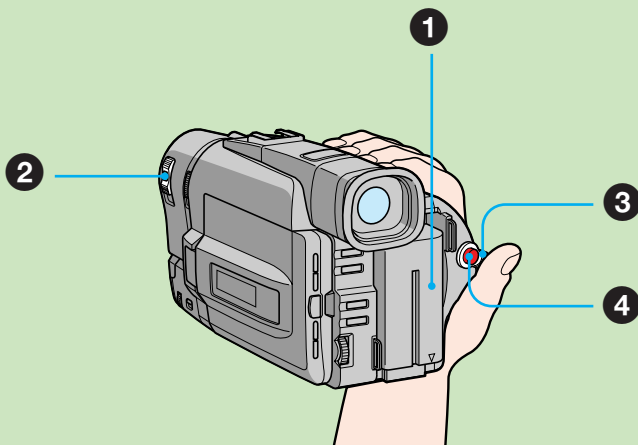
直射日光下では
採光窓によりファインダーの
画像がより明るく見えます。
このとき、ファインダー内の
色が変化することがありま
す。

- 1 ビューファインダーを上げる。
- 2 緑のボタンを押しながら、「カメラ」にする。
- 3 スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
- 4 視度調節ツマミを動かす。
ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。



撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。



撮
る

ご注意

- 液晶画面やカラービューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。(有効画素99.99%以上)これらの点は、テープに記録されません。
- ファインダーや液晶画面、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

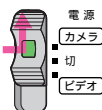
テープの最初から撮影するときは

15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

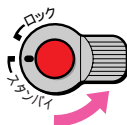
- 1 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1~4」(8~12ページ)をご覧ください。

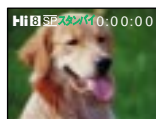
- 2 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。レンズカバーが開く。



- 3 スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。



撮影スタンバイ



撮影する(つづき)

“インフォリチウム”バッテリーNP-F930/F950を取り付けたときはビューファインダーを少し上げてお使いになることをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのためにカセットを取り出さない限り、電源を切っても、撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換はスタンバイスイッチを「ロック」にしてから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

撮影スタンバイが5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消費を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるにはスタンバイスイッチを1度「ロック」にしてから、「スタンバイ」に戻します。

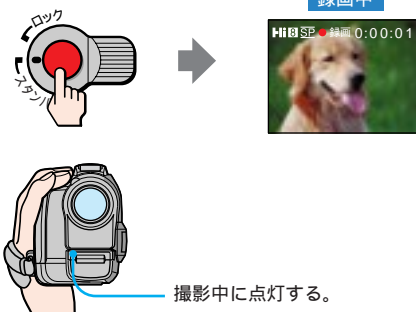
テープカウンターを「0:00:00」にするときはカウンターリセットボタンを押します(92ページ)。タイムコードを表示しているときは、カウンターリセットボタンは働きません。

タイムコードについて
撮影中は「TC 0:00:00」(時:分:秒)、再生中は「0:00:00:00」(時:分:秒;フレーム)と出ます。

4 スタート/ストップボタンを押す。

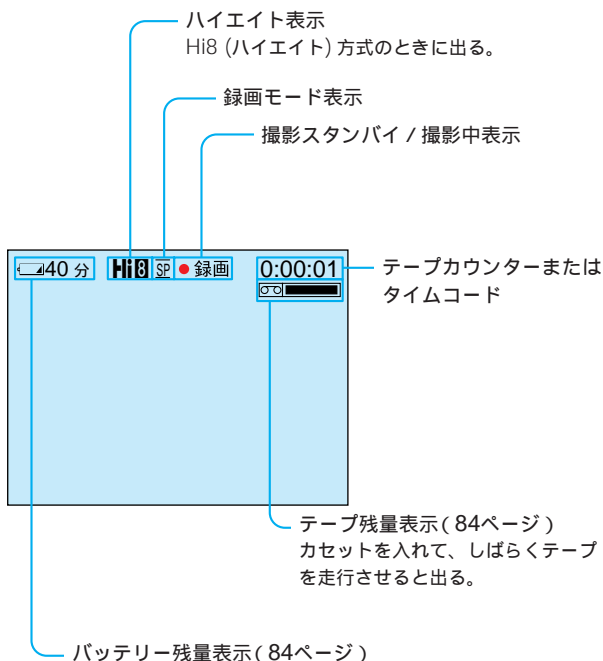
撮影が始まる。

もう一度押すと止まる。




撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。



ご注意

- 「5秒」「

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだときファインダーに「

」が出て1秒たつごとに1つずつ消えます。撮影時間を延長するには 必ずすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押ししたときからまた約5秒間撮影されます。

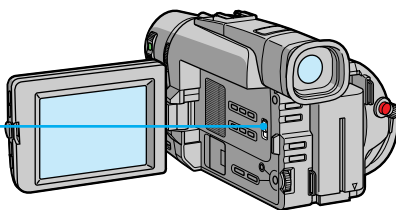
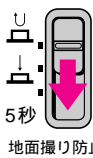
近くのものにピントがうまく合わないときはズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。


デジタルズームについて


- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は72倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます(65ページ)。

スタート/ストップモードを選ぶ

スタート/
ストップモード



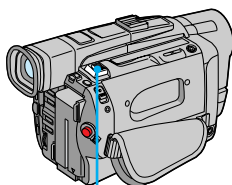
 : スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります(お買い上げ時の設定)。

 地面撮り防止 : スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。地面撮りを防ぎます。

5秒 : スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

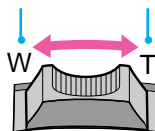
ズームする

ズームレバーを動かす。



軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。

被写体が小さくなる (広角 : Wide) ^{ワイド} 被写体が大きくなる (望遠 : Telephoto) ^{テレフォト}



使いすぎると
見づらい作品になります。

18倍を超えるズームはデジタルズームになります。

このラインよりT側が
デジタルズームになります。



撮影する(つづき)

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ビューファインダーでのご使用をおすすめします。

対面撮影では液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は以下の機能は動きません。

- メニューボタン
- リモコンのゼロメモリーボタン
- タイトルボタン
- 日付ボタン
- 時刻ボタン

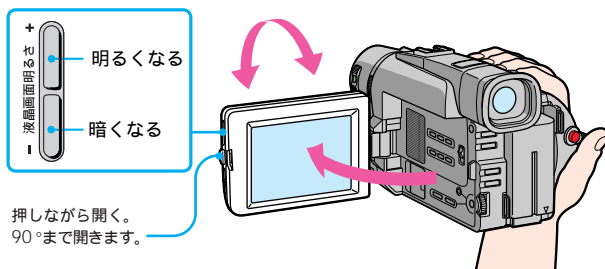
対面撮影中の表示撮影スタンプ中は■■●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

液晶画面を見ながら撮影する

液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。前方向に210°まで、手前に90°まで回転し、角度を調節できる。

液晶画面の明るさを調節する

液晶画面明るさボタンを押して調節する。



液晶画面を見せながら撮る - 対面撮影

液晶画面を180°回転させると、相手に自分が撮られている映像を見せながらビューファインダーをのぞいて撮影できます。液晶画面を見ながら自分もいっしょに映ることもできます。



1 [撮影スタンプ中]に

液晶画面を180°回転させる。



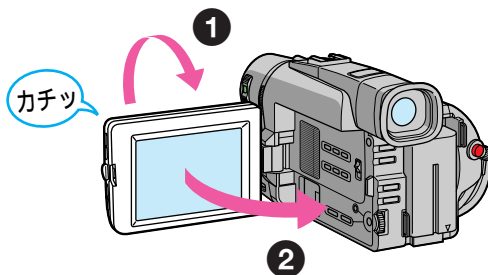
対面撮影モード表示 😊 が出る。

2 撮影する。

正しいバッテリー残量を表示させるために
使用後もバッテリーは付けたままにして下さい。バッテリーは付けたままでも減りは少なく、蓄電されています。

液晶画面を閉じるとき

液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻す。



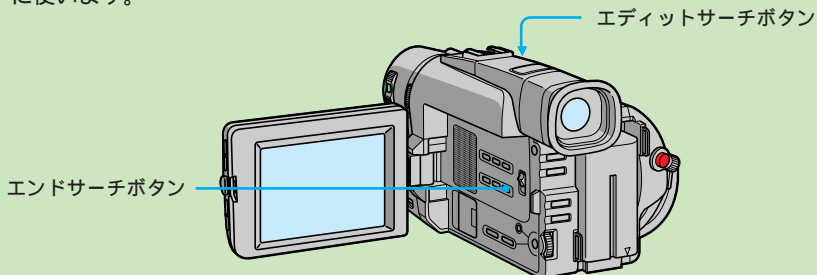
撮影が終わったら

- 1 スタンバイスイッチを「ロック」にする。
- 2 カセットを取り出す。
- 3 電源スイッチを「切」にする。

撮
る

撮影内容を確認する

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。



ご注意

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをする、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

長い内容を確認したいとき電源スイッチを「ビデオ」にして、液晶画面やファインダーで再生画像が見られます。操作は19ページ「再生する」の手順2から5までと同じです。


撮影後、カセットを取り出すとエンドサーチの機能は動きません。

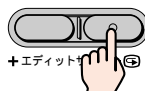
エンドサーチとは？

本機では、録画後にカセットを取り出すまで、録画を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。カセットを取り出すと位置の記憶が消えるので、エンドサーチが働きません。

最後の場面を確認する - レックレビュー

[撮影スタンバイ中]に

エディットサーチボタンの  側をポンと1回押す。



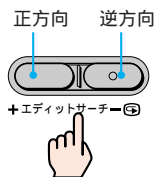
最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

正方向または逆方向に再生する - エディットサーチ

[撮影スタンバイ中]に

エディットサーチボタンの再生したい側を押し続ける。

指を離れたところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。



最後に撮影した終わりの部分に戻る - エンドサーチ

[撮影スタンバイ中]に

エンドサーチボタンを押す。

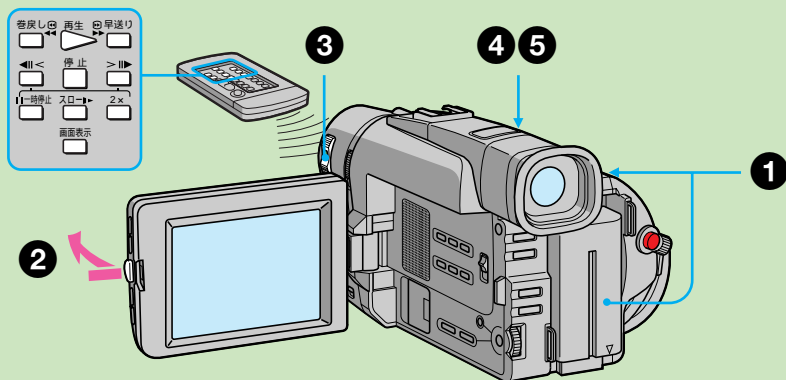
最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。

スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。



再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。ファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

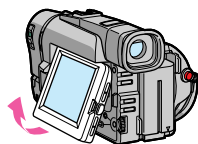


ご注意

- 電源スイッチを「ビデオ」にすると、レンズカバーは開きません。手で開けないでください。故障の原因になります。
- 外国製のビデオソフトのなかには、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

液晶画面を閉じるとスピーカーから音が出ません。液晶画面を外側に向けて閉じているときは、音が出ます。

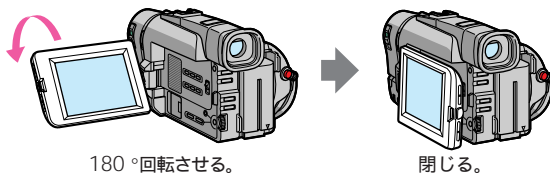
液晶画面が見にくいときは液晶画面の角度を調節します。



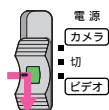
15°まで回転します。

① バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

② 液晶画面を開ける。
液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。



③ 緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。



ビデオ操作ボタンが点灯する。

再生する(つづき)

液晶画面での再生時間

バッテリー 再生時間

NP-F330 約80(70)分
(付属)

NP-F530 約130(115)分

NP-CF540 約155(140)分

NP-F550 約160(145)分

NP-F730 約280(250)分

NP-F750 約335(295)分

NP-F930 約435(390)分

NP-F950 約510(460)分

満充電してから使用したときの時間。()内は実用充電してからの時間。

低温では使用時間が短くなります。

4 巻戻しボタンを押す。

巻き戻しが始まる。



5 再生ボタンを押す。

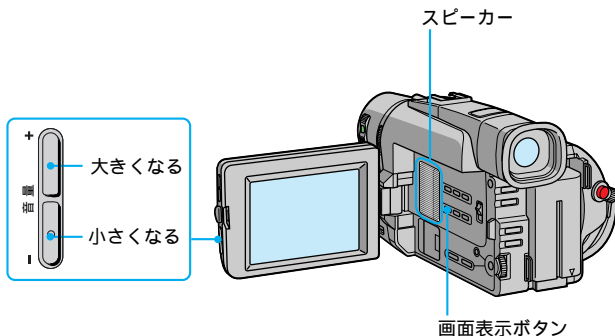
画像が映る。



音量を調節する

本体の音量ボタンを押して調節する。

ヘッドホンの音量も調節できる。



カウンターなどの表示を出す - 画面表示機能

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。消すときはもう1度押す。

電源スイッチが「カメラ」のときは、押すと表示が消せます。



変速再生中は
音声は出ません。

一時停止(静止画)について
5分以上続けると自動的に停止
状態になります。再生する
ときは、もう1度▷再生ボタン
を押します。

スロー再生について
1分以上続けると自動的にふつ
うの再生に戻ります。

逆方向再生について
画面の上下や、中央に横縞が
入りますが、異常ではありま
せん。

LPモードで録画したテープ
は
一時停止(静止画)、スロー
再生、ピクチャーサーチする
と、画面にノイズが出るこ
とがあります。

いろいろな再生

止める

[再生中]に□停止ボタンを押す。

静止画を見る

[再生中]に■一時停止ボタンを押す。
もう1度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中]に▶▶早送りボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中]に◀◀巻き戻しボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

[再生中]にリモコンの◀ボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする(ピクチャーサーチ)

[再生中]に▶▶早送り/◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る(高速アクセス)

[早送り中]または[巻き戻し中]に▶▶早送り/◀◀巻き戻しボタンを押し
続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

[再生中]にリモコンのスロー▶▶ボタンを押す。
逆方向にスロー再生するときは、リモコンの◀ボタンを押してからス
ロー▶▶ボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る(倍速再生)

[再生中]にリモコンのX2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの◀ボタンを押してからX2ボ
タンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見ると

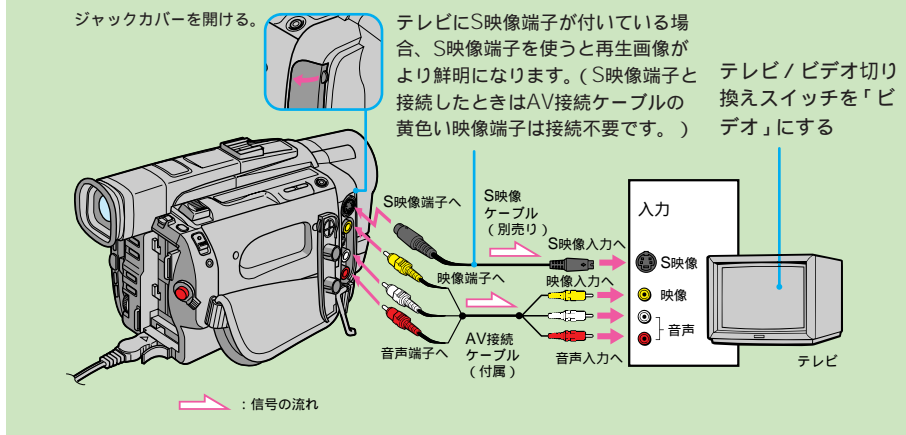
[再生一時停止中]にリモコンの■▶▶ボタンを押す。
逆方向にコマ送りするときは、◀■▶▶ボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す(エンドサーチ)

[停止中]にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします(64ページ)。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



テレビで見るときは液晶画面を閉じてください。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すにはメニューで「画面表示」を「ビデオ出力/パネル」にし(65ページ) 本体またはリモコンの画面表示ボタンを押します。消すときはもう1度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力(ライン)」にしてください。

音声入力端子がひとつ(モノラル)のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。(赤いプラグは接続不要です。) 音声はモノラルです。

映像/音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプターでつなぐ。テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声はモノラルです。

電源スイッチを「切」にする
と自動的に解除されます。

LASER AVLINK(レーザー
エーブリック)とは
▲マークのあるLASER
AVLINK対応機器の間で赤外
線による映像と音声の送受信
をおこなうシステムです。
LASER AVLINKはソニー株
式会社の商標です。

ソニー製のテレビの場合は

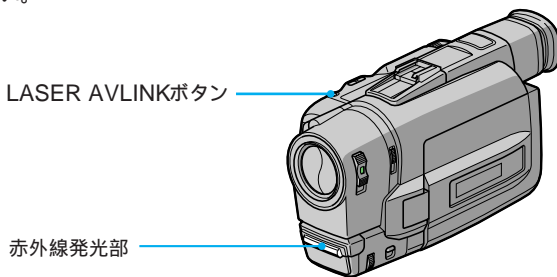
- 電源について
本機のメニューで「オート
TVオン」を「入」に設定し
て、テレビの主電源を入れ
ておくと、下記の2つの方
法で自動的にテレビの電源
を入れられます。
- 赤外線発光部をテレビのリ
モコン受光部に向けて、
LASER AVLINKボタン
を押す。
- LASER AVLINKボタン
を点灯させて、▶再生ボ
タンを押す。
- 入力について
本機のメニューで「オート
TVオン」を「入」に設定
し、「TV入力切りかえ」を
IRレシーバーをつないだテ
レビの入力端子(ビデオ1/
2/3)と同じに設定する
と、テレビの入力も自動的
に切り換わります。(テレ
ビによっては、切り換わる
ときに瞬画像や音声がと
ぎれることがあります。)
• 機種によっては操作できな
いことがあります。

LASER AVLINKを使うと
バッテリーの使用時間が短く
なりますので、使わないとき
はLASER AVLINKボタンを
解除しておいてください。

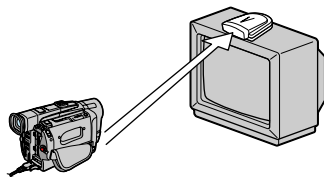
ケーブルを使わずに見る - LASER AVLINK

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおく
と、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで
見られます。

くわしくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧
ください。



- 1 テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。
- 2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。
- 3 LASER AVLINKボタンを押す。
ボタンのランプが点灯する。
- 4 再生ボタンを押す。
再生が始まる。
- 5 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。
再生中の画像がきれいにテレビに映るよ
うにする。

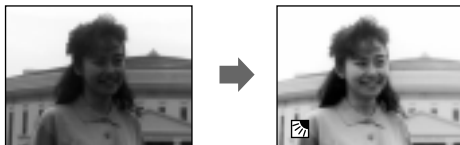


LASER AVLINKを解除する

LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

逆光を補正する

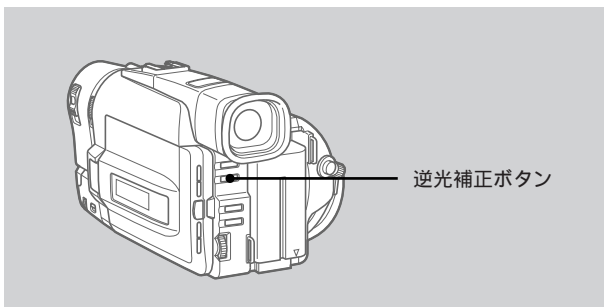
逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。



いつ使う?

- 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るとき。
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき。
- 白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき。

明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。



[撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示 \square が出る。

被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示 \square を消す。

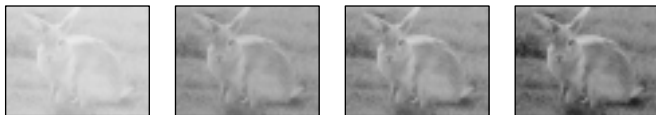
効果的な場面転換をする - フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり(フェードイン) 逆に徐々に消

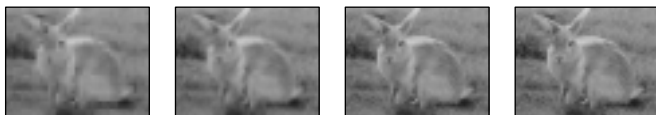
したり(フェードアウト)して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

フェーダー



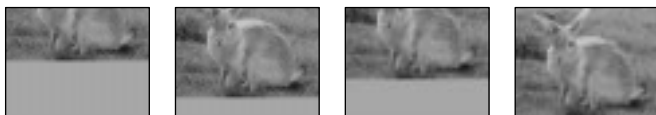
モザイクフェーダー



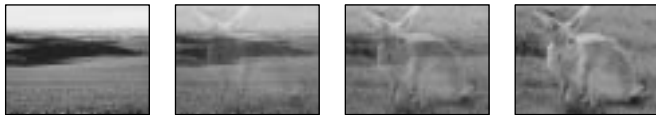
ストライプフェーダー



バウンド
(フェードインのみ)



オーバーラップ
(フェードインのみ)



ワイブ
(フェードインのみ)



ワイブ中の音量は変わりません。

フェードアウト

モノトーンフェーダー

フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

メニューでデジタルズームが「入」になっているときは使えません。

使いこなすー撮影ー

効果的な場面転換をする - フェーダー(つづき)

ご注意

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。

- デジタルエフェクトボタンを使う操作
- プログラムAEのキャンドルモード(オーバーラップ、ワイブのみ)


こんなときに使うと効果的です

- 大きな場面転換(フェードイン・フェードアウト)
- 物語の始めなど(フェードイン)
- 一日の終わりなど(フェードアウト)
- 余韻を残して場面を変える

フェードを多用すると被写体の状況がわかりづらくなり、見づらい映像になります。

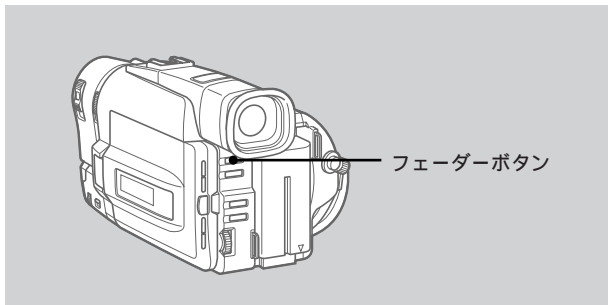
日付や時刻表示、タイトルはフェードしません
不要の場合は日付、時刻表示、タイトルを消してから行ってください。

撮影中以外の状態から撮影スタンバイにして「オーバーラップ」または「ワイブ」を出す
本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中はオーバーラップまたはワイブ表示が早い点滅になり、画面が消えます。
このとき、テープの状態によっては、きれいな画像がとりこめられないことがあります。

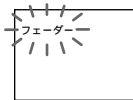
スタート/ストップモードが「」または「5秒」のときフェードイン・フェードアウトはできません。

バウンド中には以下の操作ができません

- 明るさ調節
- フォーカス
- ズーム



- 1 フェードインは [撮影スタンバイ中] に
フェードアウトは [撮影中] に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。



押すたびに変わります。
フェーダー モザイクフェーダー ストライプフェーダー バウンド モノトーンフェーダー オーバーラップ ワイブ (表示無し)
表示は前回使ったモードから表示されます。

バウンドを使うときはメニューでデジタルズームを「切」にしてください。

以下の操作中にはバウンドが表示されません。

- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクトボタンを使う操作
- プログラムAEボタンを使う操作

- 2 スタート/ストップボタンを押す。
フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタート/ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、フェーダーモード表示を消す。

暗闇で撮る - NIGHTSHOT(ナイトショット)

夜間、明かりのない場所で撮影することができます。

いつ使う? 夜行性の動植物を観察するときやキャンプなど。

通常の撮影



NIGHTSHOT




ご注意

- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくい時は、マニュアルフォーカスをご使用ください。

NIGHTSHOTライトは赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。



- ① [撮影スタンバイ中]に NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。
- ② スタート/ストップボタンを押す。
NIGHTSHOTインジケーター  と「NIGHTSHOT」が出る。

NIGHTSHOTを解除する

NIGHTSHOTスイッチを「切」にする。

NIGHTSHOTライトを使うとき

メニューで「N.S.ライト」を「入」にする。(65ページ)
画像はよりはっきりします。

横長の画面にするーワイドTVモード

再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

いつ使う?

- ・ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき。
- ・ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき。

ワイドシネマモード
撮影中



テレビで再生



ワイドテレビで再生



テレビをズームモードに切り換える



ワイドフルモード
撮影中



テレビで再生*



ワイドテレビ*で再生



テレビをフルモードに切り換える



*画像が縦長になります。

「ワイドフル」を選ぶと

手振れ補正は動きません。手振れ補正が働いているときに「ワイドフル」を選ぶと \odot が点滅し、手振れ補正は動かなくなります。

ワイドTVモード中は以下の操作はできません。

- ・ オールドムービー
- ・ フェーダーのパウンド

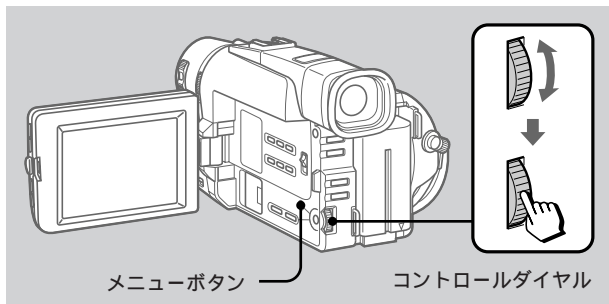
日付・時刻表示は

「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見ると、ワイドテレビで見る場合は横長の文字になります。

ビデオIDシステム (ID-1) 方式対応テレビに接続するとワイドTVモードで記録されたテープを再生すると、自動的にモードが切り換わって画面いっぱいに映ります。

録画中は

ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。



[撮影スタンバイ中] に

メニューで希望のワイドTVモード表示を選ぶ。

(65ページ)

ワイドTVモードを解除する

メニューで「切」を選ぶ。

画像に特殊効果を加える - ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。



パステル
淡い色のパステル
画のように



ネガアート
写真のネガフィル
ムのように



ソラリ
明暗をはっきりさ
せたイラストのよ
うに



モザイク
タイルを組み合わ
せたように



スリム
縦に引き伸ばした
ように

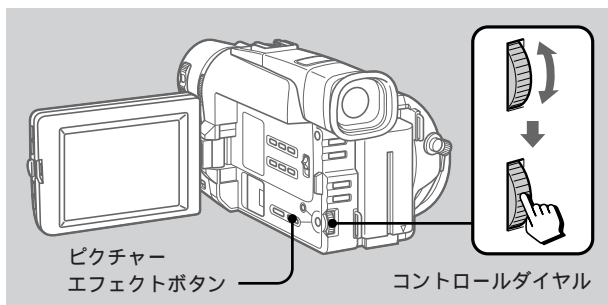


ストレッチ
横に引き伸ばした
ように

セピア 古い写真のような色合いに モノトーン 白黒に

ピクチャーエフェクトは
電源スイッチを「切」にする
と自動的に解除されます。

ピクチャーエフェクト中は
オールドムービーは選べませ
ん。



- 1 [撮影スタンバイ中] または [撮影中] に
ピクチャーエフェクトボタンを押す。
ピクチャーエフェクト表示が出る。

- 2 コントロールダイヤルを回して希望のピク
チャーエフェクト表示を出す。

モザイク

次の順で変わります。
パステル↔ネガアート↔セピア↔モノトーン
↔ソラリ↔モザイク↔スリム↔ストレッチ

ピクチャーエフェクトを解除する
ピクチャーエフェクトボタンを押す。

使いこなすー撮影ー

静止画を撮る フォトモード撮影

通常のスチルカメラで撮影するように、静止画を録画できます。

いつ使う？

- 後から記念写真のように見たいとき
- ビデオプリンターでプリントしたいとき、など。

フェードフォト

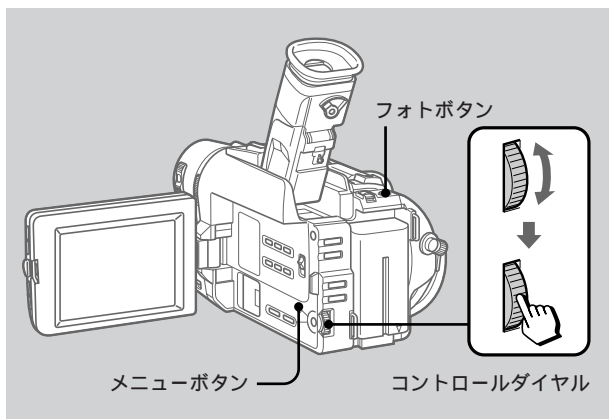


シャッターフォト



ご注意

- フォトモードで撮影中は以下のモードや設定を変更することはできません。
 - デジタルエフェクト
 - フェーダー
 - プログラムAE
 - ピクチャーエフェクト
 - 明るさ調節
 - ワイドTVモード
- デジタルエフェクトの設定中や操作中、またはフェーダーの操作中は、フォトモードで撮影できません。
- 静止画を記録しているときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。



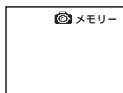
- 1 [撮影スタンバイ中] にメニューで希望のフォトモードを選ぶ。(65ページ)

撮影中にフォトモード撮影するときには
フォトボタンを軽く押して画像を確認することができません。フォトボタンを強く押し込んでください。約7秒間静止画を記録したあと、撮影スタンバイに戻ります。

暗いときは
別売りのビデオフラッシュをインテリジェントアクセサリシューに取り付けてご使用ください。「**⚡**」マークが出たことを確認してください。「**⚡**」マークが点滅しているときは適切な明るさがえられないことがあります。

撮影中にフォトモード撮影にすると
ビデオフラッシュは効きません。(「**⚡**」も出ません。)

2 フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。



画像が静止画になり、メモリー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押す。

3 フォトボタンを強く押し込む。

ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。

記録中は取り込んだ画像がビューファインダーまたは液晶画面に出ています。

撮影中の画像に静止画を重ねる - スチル

静止画を撮影して記録し、撮影中の画像に重ねることができ、音声はそのまま録音されます。

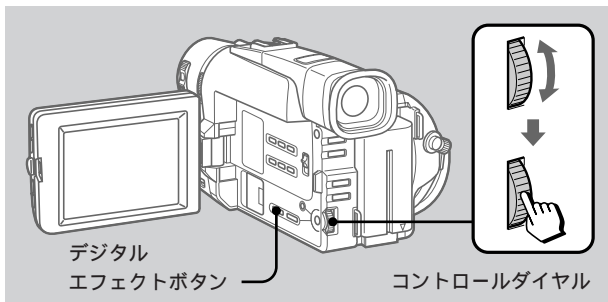


ご注意

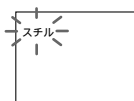
スチル中には以下の操作ができません。

- フェーダーボタンを使う操作
- プログラムAEのキャンドルモード
- フォトボタンを使う操作

電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。

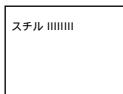


- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にデジタルエフェクトボタンを押し、コントロールダイヤルを回して「スチル」表示を出す。



次の順で変わります。
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔
トレイル↔スローシャッター↔
オールドムービー

- 2 コントロールダイヤルを押し。
押したとき撮影している画像が静止画として記憶される。



スチル表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。

- 3 コントロールダイヤルを回して、静止画と動画の割合を調節する。
スチル表示のバーの数が多いほど静止画の割合が多くなる。

スチルを解除する
デジタルエフェクトボタンを押し。

コマ送りの画像を撮る - フラッシュモーション

動いているものをコマ送りのように静止画で連続して撮影できます。静止画の間隔はコン

トロールダイヤルで調節できます。音声はそのまま録音されます。

通常の撮影



フラッシュモーション

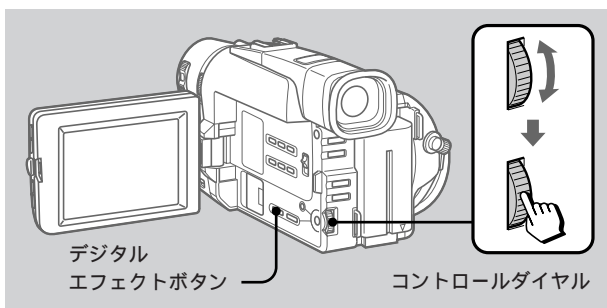


ご注意

フラッシュモーション中には以下の操作ができません。

- フェーダーボタンを使う操作
- プログラムAEのキャンドルモード
- フォトボタンを使う操作

電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にデジタルエフェクトボタンを押し、コントロールダイヤルを回して「フラッシュ」表示を出す。

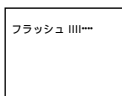


次の順で変わります。
スチル ↔ フラッシュ ↔ ルミキー ↔
トレイル ↔ スローシャッター ↔
オールドムービー

使いこなすー撮影ー

コマ送りの画像を撮る - フラッシュモーション(つづき)

- 2** コントロールダイヤルを押す。



フラッシュ表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。

- 3** コントロールダイヤルを回して、フラッシュの間隔を調節する。

フラッシュ表示のバーの数が多いほどフラッシュの間隔が長くなる。

フラッシュモーションを解除する

デジタルエフェクトボタンを押す。

静止画に動画をはめ込む - ルミナンスキー

静止画の明るい部分に好みの動画をはめ込む 音声はそのまま録音されます。
ことができます。

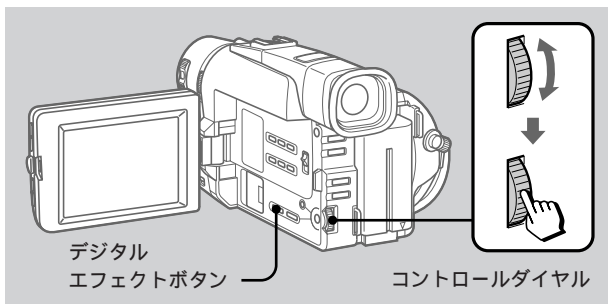


ご注意

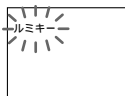
ルミナンスキー中には以下の操作ができません。

- フェーダーボタンを使う操作
- プログラムAEのキャンドルモード
- フォトボタンを使う操作

電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。



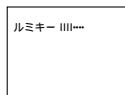
- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にデジタルエフェクトボタンを押し、コントロールダイヤルを回して「ルミキー」表示を出す。



次の順で変わります。
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔トレイル
↔スローシャッター↔オールドムービー

- 2 コントロールダイヤルを押す。

押したとき撮影している画像が静止画として記憶される。



ルミキー表示が点滅から点灯になり、バーが表示される。

静止画に動画をはめ込む - ルミナンスキー(つづき)

- ③ コントロールダイヤルを回して、静止画と動画の割合を調節する。

静止画の明るい部分から動画がはめ込まれる。ルミキー表示のバーの数が多いほど静止画の割合が多くなる。

ルミキーを解除する

デジタルエフェクトボタンを押す。

尾を引く画像を撮る - トレイル

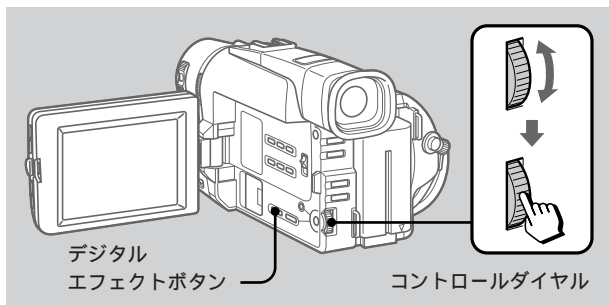
被写体の動きを尾を引くようにして撮影できます。尾を引く残像の割合はコントロールダイヤルで調節できます。音声はそのまま録音されます。

ご注意

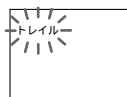
トレイル中には以下の操作ができません。

- フェーダーボタンを使う操作
- プログラムAEのキャンドルモード
- フォトボタンを使う操作

電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。

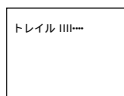


- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にデジタルエフェクトボタンを押し、コントロールダイヤルを回して「トレイル」表示を出す。



次の順で変わります。
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔トレイル
↔スローシャッター↔オールドムービー

- 2 コントロールダイヤルを押す。



トレイル表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。

- 3 コントロールダイヤルを回して、残像の割合を調節する。

トレイル表示のバーの数が多いほど残像の時間が長くなる。

トレイルを解除する

デジタルエフェクトボタンを押す。

低速シャッターで撮る - スローシャッター

シャッタースピードを遅くすると、露光量が多くなり、暗い場所で撮影しても、被写体が明るく撮れます。ただし、画面はざらつきま

また、走っている車などを撮るとき、残像画像のようにしてスピード感を出すこともできます。

ご注意

スローシャッター中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはスローシャッターは動きません。

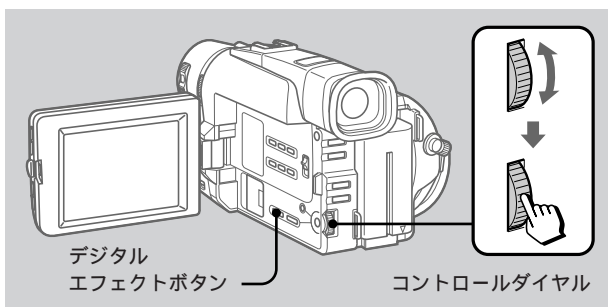
- フェーダーボタンを使う操作
- プログラムAEボタンを使う操作
- 明るさ調節
- フォトボタンを使う操作

スローシャッターでは自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。

各モードのシャッタースピードは

表示	シャッタースピード
スローシャッター-1	1/30
スローシャッター-2	1/15
スローシャッター-3	1/8
スローシャッター-4	1/4

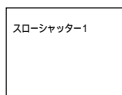


- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にデジタルエフェクトボタンを押し、コントロールダイヤルを回して「スローシャッター」表示を出す。



次の順で変わります。
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔
トレイル↔スローシャッター↔
オールドムービー

- 2 コントロールダイヤルを押し。



スローシャッター表示が点滅から点灯に変わり、スローシャッターのモード(1~4)が表示される。

- 3 コントロールダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ。

数字が大きくなるほどシャッタースピードは遅くなる。

スローシャッターを解除する
デジタルエフェクトボタンを押し。

昔の映画のように撮る - オールドムービー

ワイドシネマモード、ピクチャーエフェクト
のセピア、スローシャッターが自動的に設定

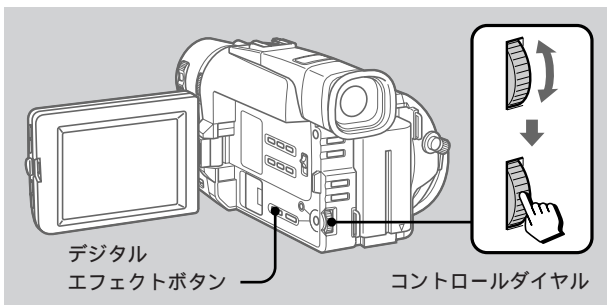
され、昔の映画のような映像で撮影できま
す。

ご注意

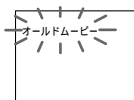
オールドムービー中には以下の
操作ができません。

- フェーダーボタンを使う操
作
- プログラムAEボタンを使
う操作
- 明るさ調節
- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクトボタ
ンを使う操作
- フォトボタンを使う操作

電源スイッチを「切」にする
と
自動的に解除されます。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
デジタルエフェクトボタンを押し、コント
ロールダイヤルを回して「オールドムービー」
表示を出す。



次の順で変わります。
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔
トレイル↔スローシャッター↔
オールドムービー

- 2 コントロールダイヤルを押し。
オールドムービー表示が点滅から点灯に変わる。

オールドムービーを解除する
デジタルエフェクトボタンを押し。

使
い
こ
な
す
ー
撮
影
ー

画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。自動では被写体をはっきり映るように調節するため、実際よりも明るく映ることがあります。

いつ使う？

- 逆光補正を細かく行いたいとき。
- 背景に比べて、被写体が明るすぎる時。

ご注意

明るさ調節しているときは以下の操作はできません。

- 逆光補正
- スローシャッター
- オールドムービー

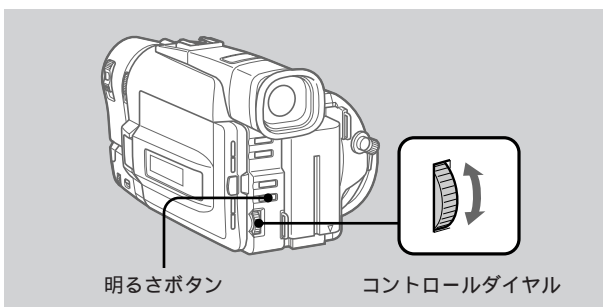
こんなときに使うと効果的です
夜景を撮りたいときなど

コントロールダイヤルは両方向へ回ります。

回転が止まる位置はありません。

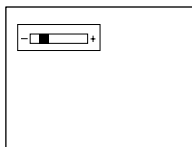
明るさを調節しているときにプログラムAEのモードを変えると

明るさ調節は自動に戻ります。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に明るさボタンを押す。

明るさ表示が出る。



- 2 コントロールダイヤルを回し、明るさを調節する。

自動調節に戻す

明るさボタンを押す。

目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に
に行います。



スポットライトモード
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときには人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。



ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。また肌色がきれいになるようにします。



風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。



スポーツ&アクションモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。



キャンドルモード
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。



ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山(スキー場)などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

目的に合わせて撮る – プログラムAE(つづき)

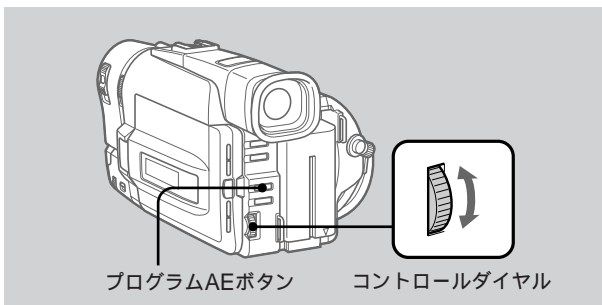
ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないよう
にフォーカスを制御します。
 - スポットライトモード
 - スポーツレックスモード
 - ビーチ&スキーモード
- 次のモードでは遠景のみに
ピントが合うようフォーカ
スを制御します。
 - サンセット&ムーンモ
ード
 - 風景モード
- プログラムAE中は以下の
操作ができません。
 - スローシャッター
 - オールドムービー
- キャンドルモード中は以下
の操作ができません。
 - デジタルエフェクトボ
タンを使う操作
 - オーバーラップ
 - ワイプ
 - 明るさ調節

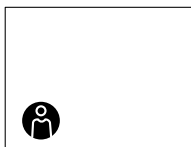
蛍光灯、ナトリウム灯、水銀
灯など放電管による照明下で
撮影すると

次のモードでは画面が明るく
なったりする現象(フリッ
カー)が起こったり、色が変
化することがあります。この
ような場合にはプログラム
AEを解除してください。

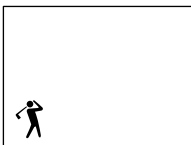
- ソフトポートレートモード
- スポーツレックスモード



- 1 [撮影スタンバイ中]に
プログラムAEボタンを押す。
プログラムAEモード表示が出る。



- 2 コントロールダイヤルを回して希望のプログ
ラムAEモード表示を出す。



次の順で変わります。
スポットライトモード↔ソフトポート
レートモード↔スポーツレックスモード
↔ビーチ&スキーモード↔サンセッ
ト&ムーンモード↔風景モード↔キャ
ンドルモード

- プログラムAEを解除する
プログラムAEボタンを押す。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。



いつ使う?

- 自動ではピントが合いにくいとき。
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき。
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき。

こんなときに使うと効果的です。


- 被写体が水滴のついた窓越しにあるとき
- 被写体が横縞だけのものとき
- 被写体と背景とのコントラストが弱いとき

このようなときには自動でピントが合いにくいことがあります。

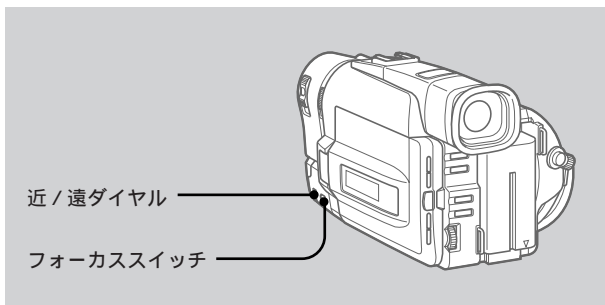
暗い室内で撮るときや明るい野外で動きの激しいものを撮るとき


T側(望遠)で手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側(広角)で撮ります。

近づいて大きく撮るときズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。

- ▲ 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。



1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にフォーカススイッチを「手動」にする。手動ピント合わせ表示が出る。

2 近/遠ダイヤルを回し、ピントの合う位置を調節する。

自動調節に戻すとき

フォーカススイッチを「自動」にする。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカススイッチを「無限」に合わせると、ピントは無限遠になる。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがってしまうときに使います。

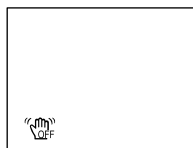
手ぶれ補正を解除する

手ぶれ補正はカメラの揺れを検知して、その揺れを補正します。ハンディカムを手にとって撮るときに効果があります。

三脚に取り付けるなど手ぶれの心配がないときは、手ぶれ補正を「切」にしたほうが自然な画像になります。




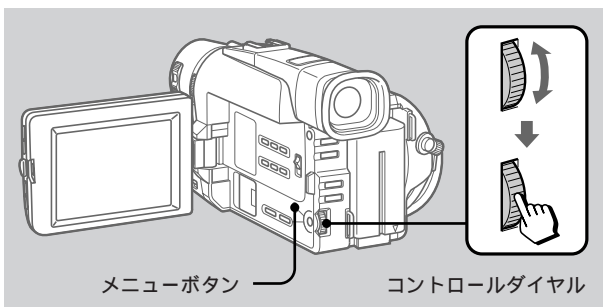
手ぶれ補正「入」




手ぶれ補正「切」

ご注意


- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- テレコンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。
- ワイドモードを「ワイドフル」にして撮影すると、手ぶれ補正は働きません。「ワイドフル」のときは「」が点滅します。



[撮影スタンバイ中]または[撮影中]にメニューで「手ぶれ補正」を「切」にする。
(65ページ)

手ぶれ補正「切」表示  が出る。

手ぶれ補正を働かせるとき

メニューで「手ぶれ補正」を「入」にして、手ぶれ補正「切」表示  を消す。

タイトルを入れる

撮影中にタイトルを入れることができます。あらかじめ記憶している8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類

(47ページ)の中から内容にあったものを選びます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。



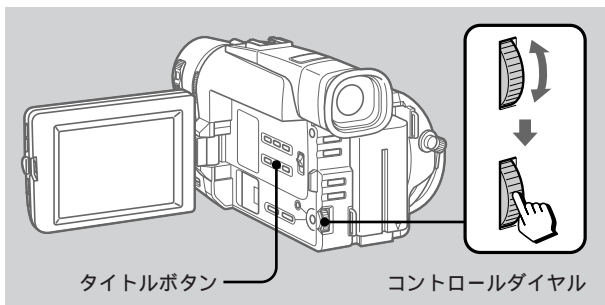
ご注意

- タイトル文字のサイズや位置によっては、日付・時刻表示の両方、または片方が表示されないことがあります。
- 12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズの決定後、通常サイズに戻ります。

タイトルを入れて撮影しているときはメニューを出すとメニューが出ている間はタイトルが記録されません。

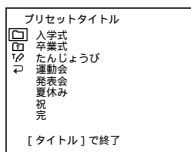
オリジナルタイトルを入れるときは手順2で「□」を選びます。オリジナルタイトルが作成されていないと、タイトル表示欄に「---...」と表示されます。

タイトルが表示されていると液晶画面明るさ調節と音量調節はできませんが、表示は出ません。

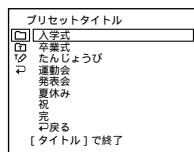
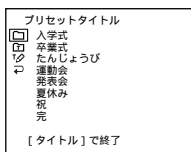


撮影の始めから入れるとき

- 1 [撮影スタンバイ中]にタイトルボタンを押す。



- 2 コントロールダイヤルを回して、「□」を選び、ダイヤルを押す。



タイトルを入れる(つづき)

設定表示と表示順

「色設定」

しろ↔きいろ↔むらさき
↔あか↔みずいろ↔みどり
↔あお

「サイズ設定」

ちいさい↔おおきい

「位置設定」

1↔2↔3↔4↔5↔6↔
7↔8↔9

大きい数字になるほど位置が
下になります。

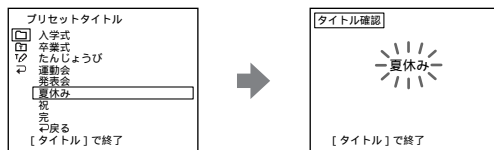
サイズ設定で「おおきい」を
選んだときは、9の位置は選
べません。

タイトルの選択 / 設定操作を
しているときは
画面に出ているタイトルは記
録できません。

撮影の途中でタイトルを入れ
るときは
おしらせブザーは鳴りませ
ん。

- 3 コントロールダイヤルを回して、入れたいタイトルを選びダイヤルを押す。

タイトルが点滅する。

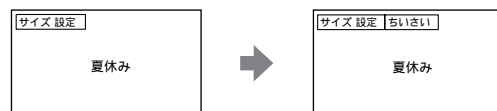


- 4 色、サイズ、位置を選択する。

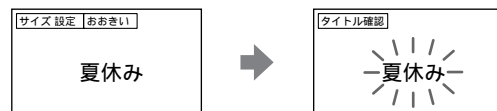
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすすむ。

- 1 コントロールダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、ダイヤルを押す。

選べる項目が出る。



- 2 コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。



- 3 必要なだけ1、2を繰り返す。

- 5 コントロールダイヤルを押して、タイトルを表示させる。

- 6 撮影を始める。

- 7 タイトルを消したい場でタイトルボタンをもう一度押す。

撮影の途中でタイトルを入れるとき

撮影中に、タイトルボタンを押し、「撮影の始めから入れるとき」の手順2から5を行う。手順5でコントロールダイヤルを押した時、タイトルが入る。

タイトルを作る

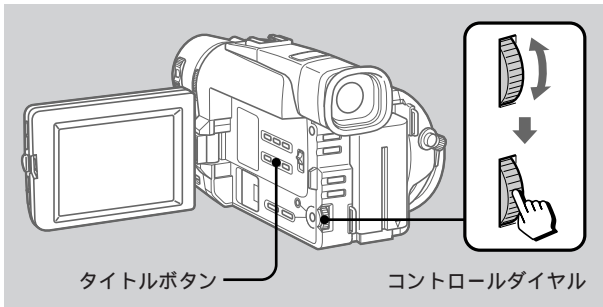
20文字以内のタイトルを自分で作って2種類まで本機に記憶できます。

手順6で、作ったタイトルが20文字になるとそれ以上の文字を選択することはできません。

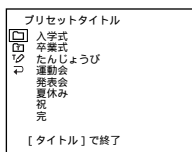
撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます

それまで作成したタイトルは残っています。1度スタンバイスイッチを下げてからもう1度上げて、はじめからやり直してください。

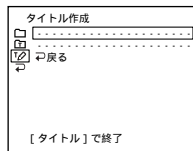
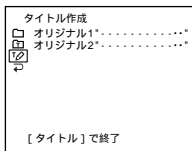
5分以上かかりそうときはビデオにしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。



① [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のときタイトルボタンを押す。

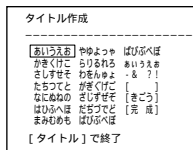
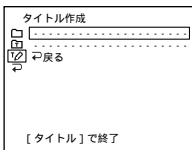


② コントロールダイヤルを回して、「 \square 」を選び、ダイヤルを押す。



③ コントロールダイヤルを回して、1行目または2行目の「---...」を選び、ダイヤルを押す。

1行目はオリジナル1。2行目はオリジナル2。

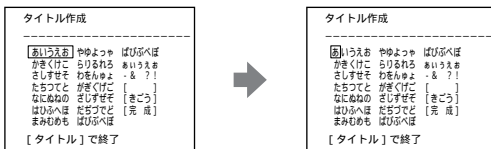


タイトルを作る(つづき)

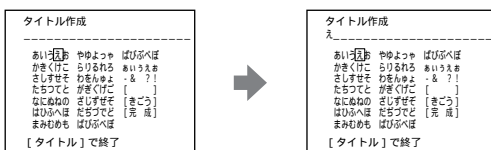
[きごう] を選ぶとアルファベットや数字などが選べる画面が出ます。[かな] を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき [←] を選びます。一番後ろの文字が消えます。

- 4 コントロールダイヤルを回して、希望の文字列を選び、ダイヤルを押す。



- 5 コントロールダイヤルを回して、希望の文字列を選び、ダイヤルを押す。



- 6 手順4、5を繰り返して希望のタイトルを作る。

- 7 コントロールダイヤルを回して、[完成] を選び、ダイヤルを押す。
タイトルが記憶される。

- 8 タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

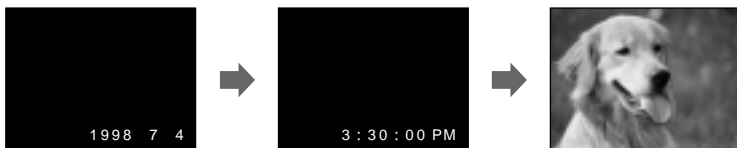
作成したタイトルを変更する

手順3で、変更したいオリジナルタイトルを選び、ダイヤルを押す。[←] を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

撮影中に手動で日時を記録する

日付・時刻を画像にかさねて記録します。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。

ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに映像の邪魔になったり、編集のときに表示の日時が前後してしまったりします。

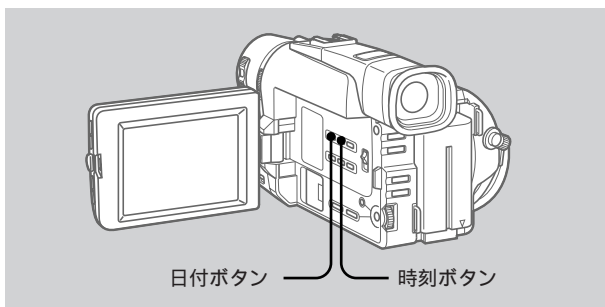


ご注意

手動で記録した日時は消せません。

こんなときに使うと効果的です
データコード対応ではないビデオ機器で再生や編集などを行うとき。

本機はデータコード機能があります
撮影時の日付・時刻は常に自動的に記録されます(53ページ)。

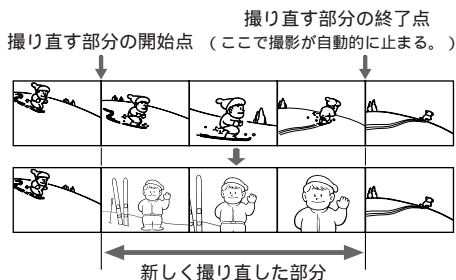


[撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
日付を入れる 日付ボタンを押す。
時刻を入れる 時刻ボタンを押す。
日付と時刻を同時に入れる 日付ボタンと時刻ボタンを押す。

表示を消すとき
もう1度押す。

ある部分だけ撮り直す


撮影した画像の一部だけをあとで撮り直すことができます。液晶画面を見ながら、撮り直したい部分の始めと終わりを決めて、その部分だけ新しく撮り直します。リモコンでのみ操作できます。メニューで「カウンター」を「ノーマル」にしておきます。

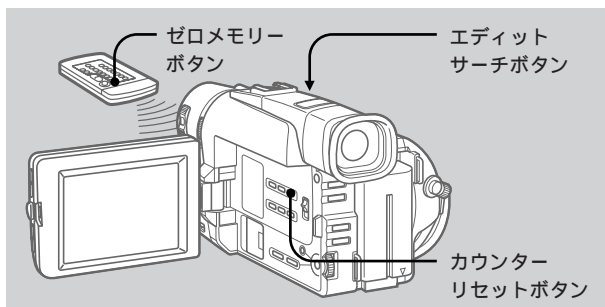



ご注意

- RCタイムコードが表示されているときは、この機能は働きません。
- 新しく撮り直すと、前の画像と音声は消えます。
- 撮り直した部分の終了点で画像や音声が乱れることがあります。

途中に記録されていない部分があると
ゼロメモリー機能が正しく働かない場合があります。

スタート/ストップモードが「」か「5秒」のときはこの機能は使えません。



- 1 [撮影スタンバイ中]に
エディットサーチボタンを押し続け、撮り直したい部分の終了点で離す。
- 2 カウンターリセットボタンを押す。
カウンター値が「0 : 00 : 00」になる。
- 3 エディットサーチ -  ボタンを押し続け、撮り直したい部分の開始点で離す。
- 4 ゼロメモリーボタンを押す。
「ゼロメモリー」が点滅し、撮り直す部分の終わりの位置が記憶される。
- 5 撮影する。
撮り直す部分に新しく録画される。
カウンター値が「0 : 00 : 00」の付近で、自動的に撮影スタンバイになり、ゼロメモリーは解除される。

テープに合わせてきれいに撮る - ORC設定

テープの種類や状態に合わせて、最適な状態で録画できるようにします。



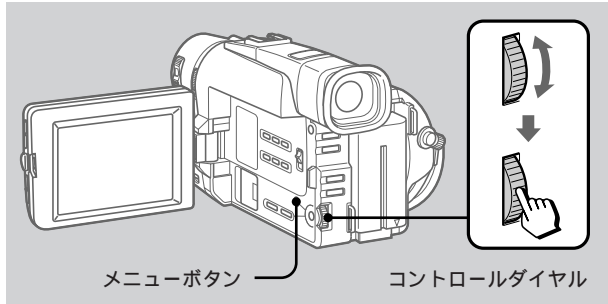
カセットを入れて撮影を始める前。

カセットを取り出すと設定が解除されます。カセットを入れるたびに設定し直してください。


カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープにはORC設定はできません。

録画済みのテープにORC設定をすると約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。

ORC設定を確認するときメニュー画面を出して、「ORC設定」を選びます。「完了」表示が出たらORCは設定済です。



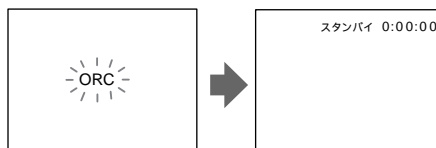
1 [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。

2 コントロールダイヤルを回して、アイコン「」を選び、ダイヤルを押す。

3 コントロールダイヤルを回して、「ORC設定」を選び、ダイヤルを押す。

カメラ録画ボタンをおしてください

4 スタート/ストップボタンを押す。ORC表示が点滅する。設定が終わると(約10秒後)撮影スタンバイに戻る。



設定完了です

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、デジタルエフェクトのうち、

スチル、フラッシュモーション、ルミナスキー、トレイルが使えます。

ご注意

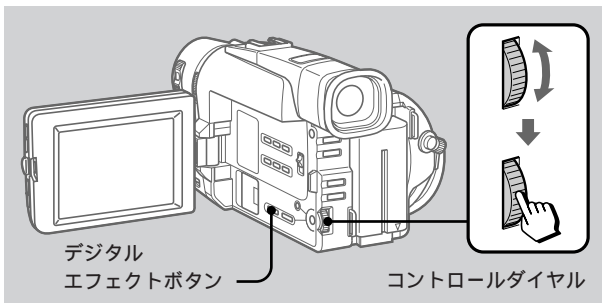
- 加工した画像を本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。
- 変速再生中は画像にノイズが出ますが、故障ではありません。
- デジタルエフェクト表示が早い点滅のときは操作できません。

スチルとルミキーでは

- 再生中に▶▶早送りボタンまたは◀◀巻戻しボタンを押して、重ね合わせる画像を探することができます。ただし、画像にノイズが出ます。
- テープを止めても記憶した静止画は消えません。

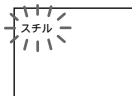
電源スイッチを「切」にすると

自動的に解除されます。



1 [再生中]に

デジタルエフェクトボタンを押し、コントロールダイヤルを回して使いたいモードを選ぶ。



次の順で変わります。

スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔トレイル

2 コントロールダイヤルを押す。

表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

3 コントロールダイヤルを回して、効果を調節する。

各デジタルエフェクトについて詳しくは32、33、35、37ページをご覧ください。

デジタルエフェクトを解除する

デジタルエフェクトボタンを押す。

撮影日時を画面に出す - データコード

本機は、撮影時の日付・時刻を自動的に画像とは別にテープに記録しています(データコード機能)。再生時に希望の場所を出したり消すことができます。



再生中に、撮影したときの日付・時刻を確認したいとき。

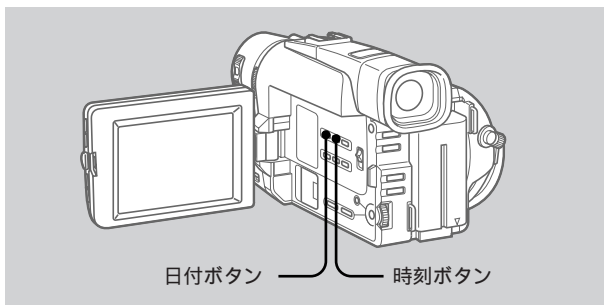
ご注意

他の8ミリビデオデッキなどでPCMアフレコを行ったり、インデックス信号を入れたり、タイムコードアフレコをすると、データコードが消去されることがあります。

次のときは、---- -- または --:--:--を表示します。

- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を合わせないで撮影したテープ
- データコード機能が付いていないビデオカメラレコーダーで撮影したテープ
- スロー再生などの変速再生をしている
- LPモードで撮影したテープ

「ワイドシネマ」で撮影すると黒い帯の部分にデータコードが表示されます。



[再生中]に

日付を出す 日付ボタンを押す。

時刻を出す 時刻ボタンを押す。

日付と時刻を同時に出す 日付ボタンと時刻ボタンを押す。

表示を消すとき

もう1度押す。

リモコンで操作するとき

データコードボタンを1度押すと日付と時刻が出る。

もう1度押すと消える。

撮影日の変わり目を探す

撮影した日付の変わり目を自動的に探し、そこから再生を始めることができます(日付サーチ)。また、日付の変わり目を次々に探し、自動的に約10秒ずつ再生することもできます(日付スキャン)。

いつも使う?

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなど。



ご注意

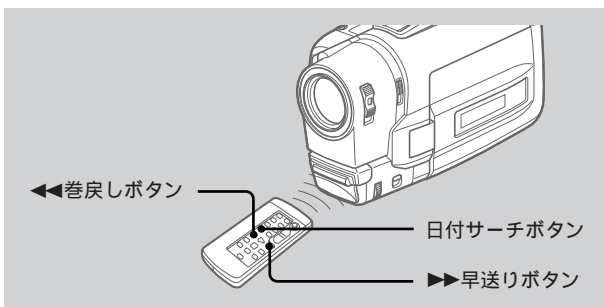
- データコード機能のない他のビデオカメラレコーダーで撮影したテープでは日付サーチ・日付スキャン機能は働きません。
- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。
- インデックス信号の再生打ち込みや消去をすると頭出しが約10秒ずれることがあります。

日付サーチボタンは
日付サーチ 日付スキャン
表示なし |
と押すたびに変わります。

途中で止めるときは
日付サーチ、口停止、◀◀巻戻し、▶▶再生、▶▶早送りのいずれかのボタンを押します。

再生状態から始めると
日付の変更点を探している間、早送り、または巻き戻しの画像が映ります。このとき、画面上ではノイズがでます。

記録済みのテープにRCタイムコードを打ち込むと
日付サーチ・日付スキャン機能は働きません。



① 電源スイッチを「ビデオ」にする。

② [再生中]に

日付サーチ 日付サーチボタンを1回押す。
日付スキャン 日付サーチボタンを2回押す。

③ ◀◀巻戻し、または▶▶早送りボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、◀◀巻戻しボタンを、日付を進めるときは、▶▶早送りボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

日付スキャンの後で、通常の再生に戻るときは、▶▶再生ボタンを押す。

見たい場面にすばやく戻す - ゼロメモリー

カウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。リモコンでのみ操作できます。メニューで「カウンター」を「ノーマル」にしておきます。

いつ使う?

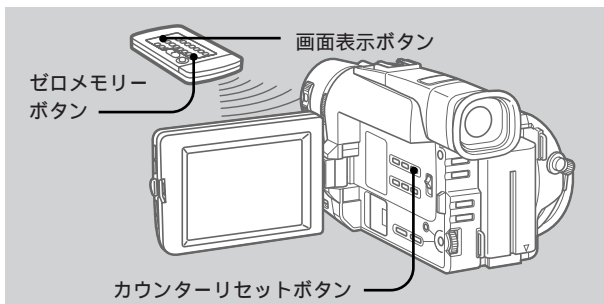
再生中に、後からもう一度見たいと思う場面があったときなど。

ご注意

RCタイムコードが表示されているときは、この機能は働きません。

巻き戻す前にゼロメモリーボタンをもう1度押すとゼロメモリーが解除されません。

カウンター値と実際の時間は多少誤差が出ることがあります。



- 1 [再生中]に画面表示ボタンを押す。
カウンターが表示される。
- 2 後から見たい場面でカウンターリセットボタンを押す。
カウンター値が「0:00:00」になる。
- 3 再生し終わったら■停止ボタンを押す。
- 4 ゼロメモリーボタンを押す。
ゼロメモリー表示が点滅する。
- 5 ◀◀巻戻しボタンを押す。
カウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。
- 6 ▷再生ボタンを押す。
カウンター値「0:00:00」の場面からもう1度再生される。

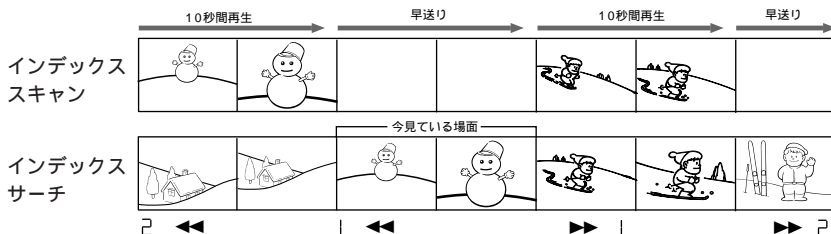
使いこなすー再生ー

各場面の頭出しをする - インデックス機能

それぞれの場面の頭にインデックス信号を打ち込むと、いろいろな場面を次々に見たり(インデックススキャン)、特定の場面の頭出しをしたり(インデックスサーチ)できます。リモコンでのみ操作できます。

いつも使う?

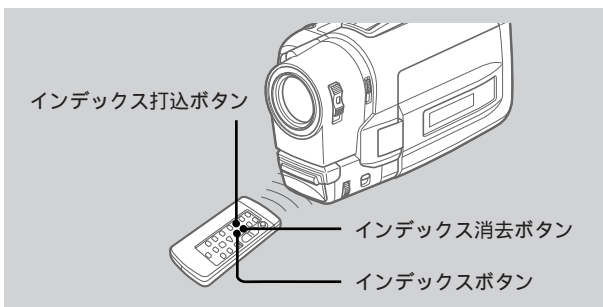
1本のテープ中で、場面がいくつも変わるときなど。



ご注意

- カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープには、インデックス信号は打ち込みません。
- フォトモードで撮影中はインデックス信号は打ち込みません。
- インデックス信号を正しく検出するために
 - 信号の間隔は2分以上開けてください。
 - インデックス打込表示が点灯中は、撮影を止めないでください。
- データコードを記録してあるテープにインデックス信号を打ち込むとインデックス信号を記録した部分のデータコードが消えます。消えた部分を再生すると、直前のデータをそのまま表示します。

再生中に打ち込むと黒い帯が出ます。この間は音声は出ません。すでに記録されている映像・音声には影響ありません。



インデックス信号を打ち込む

頭出ししたい位置に、インデックス信号を打ち込みます。

撮影(または再生)の始めから打ち込むとき
[撮影スタンバイ中]または[再生一時停止中]に
インデックス打込ボタンを押してから、撮影または再生を始める。

インデックス打込表示が出て、約10秒後に消える。


撮影中(または再生中)に打ち込むとき
[撮影中]または[再生中]に
インデックス信号を打ち込みたい場面でインデックス打込ボタンを押す。

インデックス打込表示が出て、約10秒後に消える。

ご注意

インデックス信号を記録した部分に他の8ミリビデオデッキなどでPCMアフレコを行うと、インデックス信号が消去されることがあります。

以下の状態ではインデックス信号を打ち込めません。

- スタート/ストップモードスイッチを「」または「5秒」に合わせたとき
- フェードアウト中

電源スイッチを「ビデオ」にして録画するとインデックス信号は録画の始めに自動的に打ち込まれます。ただし、録画一時停止の状態から録画すると、打ち込まれません。

インデックスサーチで指定するインデックス番号は前後に関係なく、今見ている場面から何場面離れているかを指定します。

各場面を次々に見るーインデックススキャン

インデックス信号のついた場面を次々にさがし、自動的に約10秒ずつ再生します。

- 1 [再生中]または[停止中]にインデックスボタンを押す。
インデックススキャン表示が出る。

- 2 今より前の場面を見る
◀◀巻戻しボタンを押す。
今より先の場面を見る
▶▶早送りボタンを押す。
各場面を10秒ずつ再生する。
ふつうの再生に戻すには、▷再生ボタンを押す。

ある場面の頭出しをするーインデックスサーチ

ある特定の場面をさがして、頭出しをすることができます。

- 1 [再生中]または[停止中]に頭出ししたいインデックス番号が出るまでインデックスボタンを押す。
インデックスサーチ表示が出る。
- 2 今より前の場面を見る
◀◀巻戻しボタンを押す。
今より先の場面を見る
▶▶早送りボタンを押す。
選んだ場面の再生が始まる。

各場面の頭出しをする - インデックス機能(つづき)

ご注意

データコードを記録してあるテープのインデックス信号を消去すると、その部分のデータコードが消えます。

カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープのインデックス信号は消去できません。

他のビデオデッキで打ち込んだインデックス信号は本機で検出はできますが、消去できないことがあります。

インデックス信号の消去中、画面下部に黒い帯が出て音声がかたくなります。テープ上の記録には問題ありません。

本機で打ち込んだインデックス信号は他のビデオデッキで検出することはできますが、消去できない場合があります。

インデックス信号を消す

不要なインデックス信号は、消すことができます。

- 1 [再生中]または[停止中]に消したい場面の頭出しをする。
インデックススキャンまたはインデックスサーチで行う。

- 2 消したい場面が再生されたら、インデックス消去ボタンを押す。

消したい場面の頭が再生されてから約2秒～10秒以内に押す。

消去が終わると、インデックススキャンで選んだ場合は次の頭出しに移る。インデックスサーチで選んだ場合はふつうの再生に戻る。

記録済みのテープにRCタイムコードを打ち込む

編集に便利のように、1コマ1コマの映像に対応したカウンター値(RCタイムコード)を記録済みのテープに記録できます。リモコンでのみ操作できます。メニューで「カウンター」

を「タイムコード」にしておきます。

いつも使う?

編集したテープやRCタイムコード機能のないビデオカメラレコーダーで撮影したテープを編集するとき。

ご注意

- 記録済みのテープにRCタイムコードを記録すると、データコードは消去されます。
- 以下の場合RCタイムコードの打ち込みが解除されます。
 - 再生を始める前にタイムコード打込ボタンをもう1度押したとき
 - 再生を始める前にリモコンのインデックスボタンまたは日付サーチボタンを押したとき
 - 再生以外のモードに移ったとき

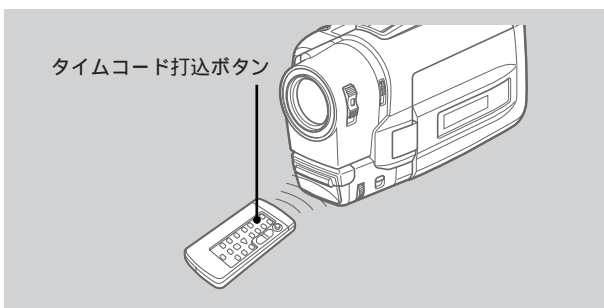
カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープにはRCタイムコードは打ち込めません。

次の場合、再生中に-:--:--:--を表示します。

- 何も記録されていない
- テープの傷みやノイズなどでRCタイムコードを読み取れない
- RCタイムコード機能が付いていないビデオカメラレコーダーで撮影したこのとき、RCタイムコードを打ち込み直すことをおすすめます。

変速再生をしたときにも表示されることがあります。

RCタイムコードの打ち込み中は画面下部に黒い帯が出て音声がかたかたになります。テープ上の記録には問題ありません。



- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 テープの始めまで巻き戻し、▶再生ボタンを押してから、⏏一時停止ボタンを押す。
- 3 タイムコード打込ボタンを押す。
タイムコード打込表示が点滅する。
- 4 ⏏一時停止ボタンを押す。
タイムコード打込表示が点滅から点灯に変わり、0:00:00:00 からRCタイムコードが打ち込まれる。

途中で打ち込みを止める

■停止ボタンまたは他のビデオ操作ボタンを押す。

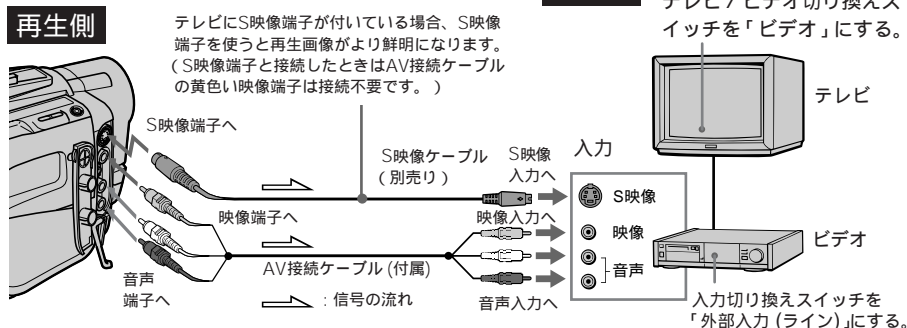
途中までRCタイムコードを記録してあるテープに打ち込むとき

手順2で、RCタイムコードが記録されている場面の最後を出し、手順3、4を行う。

RCタイムコードが打ち込まれていないテープの途中から打ち込む場合、テレビ画面に表示されている画像より数コマ前の画像から打ち込みが始まります。

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使
い、ダビング・編集ができます。



カウンターなど画面表示を出しているときは録画側のテープに記録されます。表示を消しておくことをおすすめします。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。

Hi8, Hi8VHS, VHS, VHS-C, SVHS, SVHS-C, Hi

録画側ビデオの音声入力がひとつ(モノラル)の場合AV接続ケーブル(付属)の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。(赤いプラグはどちらにもつながないでください。)音声はモノラルです。

ファインシンクロエディット対応

本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能を持つビデオデッキと本機のLANC端子(93ページ)をLANCケーブル(別売り)でつなげば、より精度の高い編集ができます。

静止画、スロー画、2倍速(倍速再生)でもきれいにダビング・編集ができます。

- 1 本機に撮影済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。
- 2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 3 メニューで「エディット」を「入」にする。(65ページ)
- 4 本機のテープを再生し、他のビデオに録画したい場面より少し前で■一時停止ボタンを押す。
- 5 録画機を録画一時停止状態にする。
- 6 本機の■一時停止ボタンを先に押し、数秒後に録画機の■を押す。
ダビング・編集が終わったら、メニューで「エディット」を「切」にする。

タイトルを入れるとき

「タイトルを入れる」(45ページ)の手順を行う。

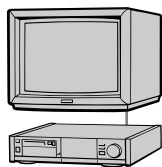
ビデオやテレビの画像を録画する

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

録画側

受信 / 再生側

テレビ

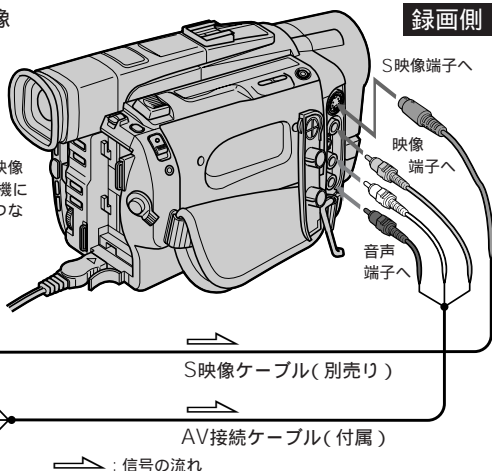


ビデオ

ビデオやテレビにS映像端子がない場合、本機にもS映像ケーブルはつながないでください。

出力
● S映像
● 映像
● 音声

S映像出力へ
映像出力へ
音声出力へ



ご注意

- 二重音声放送は記録できません。
- 本機の音量は最小にしておいてください。画像が乱れることがあります。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグを音声出力へつなぎます。(赤いプラグはどちらにもつながないでください。)音声はモノラルです。

S映像端子付きのビデオやテレビにつなぐとき
S映像ケーブルをつなぐと、録画画像がより鮮明になります。

① 本機に録画用のカセットを、他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

② 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

③ メニューで「画面表示」を「パネル」にする。(65ページ)

ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出る。

④ 本機を録画一時停止にする。

- 録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに||一時停止ボタンを押す。



⑤ 他のビデオで再生を始める。または、録画したいテレビ番組を受信する。

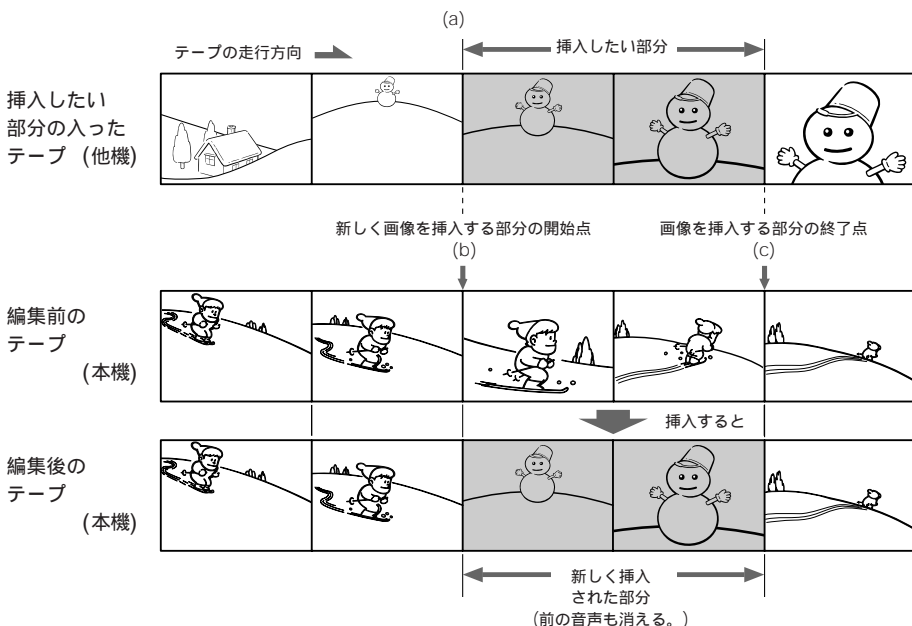
⑥ 録画したい場面で||一時停止ボタンを押して録画を始める。

使いこなすー編集ー

記録済みテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入(インサート編集)できます。61ページの接続と準備をし、他機に挿入したい部分の入ったテープ

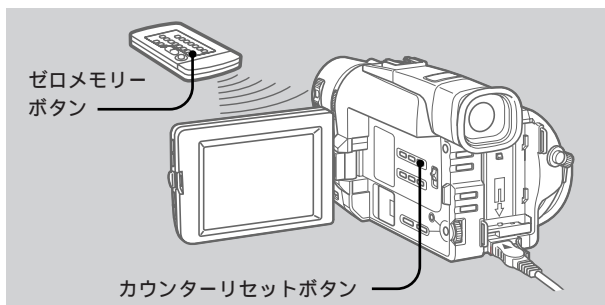
を入れておきます。メニューで「カウンター」を「ノーマル」にしておきます。



ご注意

- RCタイムコードが表示されているときは、この機能は動きません。
- 新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像や音声が乱れることがあります。故障ではありません。



- 1 他機(再生側)で、挿入したい部分の始め(a)を探し、再生一時停止状態にする。

-
- ② 本機で、画像を挿入する部分の終了点(c)を探し、再生一時停止状態にする。
ピクチャーサーチ(21ページ)を使うと便利です。

-
- ③ 本機のカウンターリセットボタンを押す。
カウンター値が「0:00:00」になる

-
- ④ 本機で、画像を挿入する部分の開始点(b)を探し、再生一時停止状態にする。

-
- ⑤ 本機を録画一時停止状態にする。
●録画ボタンを2つ同時に押す。



-
- ⑥ リモコンのゼロメモリーボタンを押す。
ゼロメモリー表示が点滅する。画像を挿入する部分の終了点(c)が記憶される。



-
- ⑦ 本機と再生機の||一時停止ボタンを同時に押す。

本機の挿入部分に、新たにビデオ(再生側)の映像・音声録画され始める。

カウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に録画一時停止になり、インサート編集が終わる。

終了点の位置を変える

手順5のあとでゼロメモリーボタンをもう1度押し、ゼロメモリー表示を消して、手順2からやり直す。

バッテリー以外の電源で使う

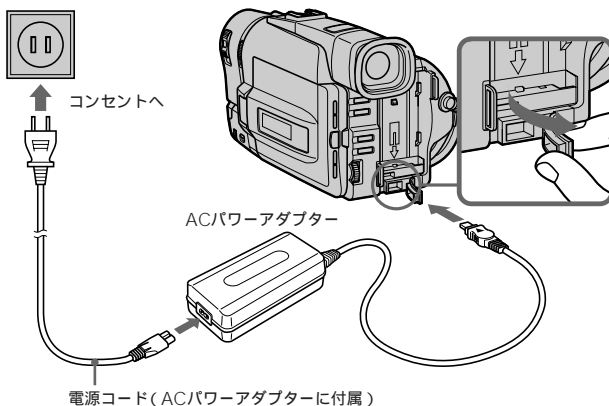
テープを再生するときなど長時間使用するとき、家庭用のコンセントや自動車の電源を

使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

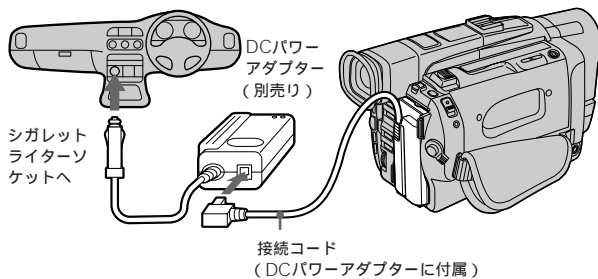
ご注意

電源供給はDC入力端子が優先されます。バッテリーで使用する時、コンセントから電源コードを抜いても、DC入力端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

コンセントにつないで使う

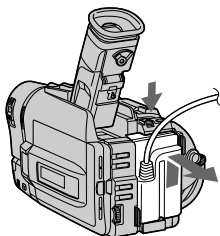


自動車電源につないで使う



接続プレートを取りはずす

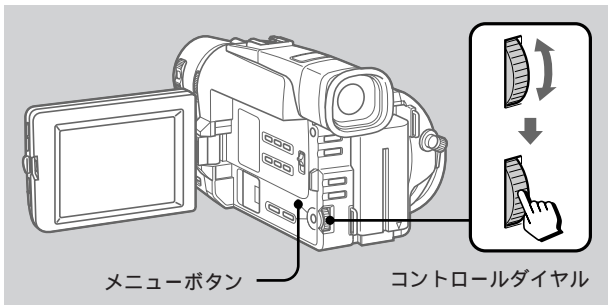
バッテリー取りはずしボタンを押しながら上へずらす。



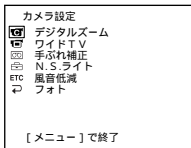
メニューで設定を変える

ご注意

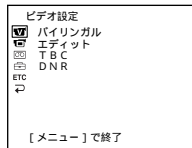
対面撮影中は、液晶画面、ファインダーにメニュー画面ができません。



1 [撮影スタンバイ中] または [ビデオ] のとき メニューボタンを押す。

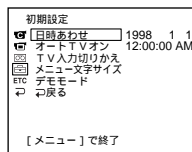
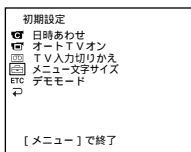


撮影スタンバイ中のとき
(「カメラ」のとき)

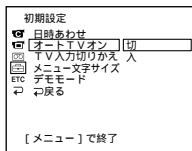
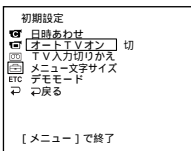


「ビデオ」のとき

2 コントロールダイヤルを回して希望のアイコンを選び、ダイヤルを押す。



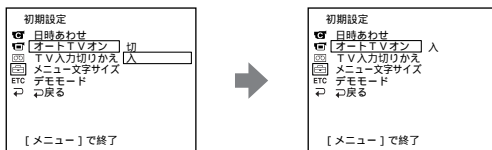
3 コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。



使いこなすーその他の使いかたー

メニューで設定を変える(つづき)

- 4** コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、ダイヤルを押す。



- 5** 必要なだけ手順2～4を繰り返す。









手順2に戻るには、コントロールダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の 印側に設定されています。

電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
 パネルバック ライト	明るさノーマル	-	通常はこの位置へ。
	明るい	液晶画面を明るくする。	液晶画面が暗いとき。
 パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを調節する。	詳しくは72ページ。
 録画モード	SP	SP(標準)モードで録画する。	通常はこの位置へ。
	LP	SPモードの2倍の録画時間で録画する。	長時間録画したいとき。
 テープ残量表示	オート	以下のときにテープ残量を表示する。 1. 電源/テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。2. ▷再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。3. 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	通常はこの位置へ。
	入	テープ残量を常に表示する。	テープ残量が気になるとき。
 カウンター	ノーマル	通常のカウンターを表示する。	撮影時はこの位置へ。
	タイムコード	1コマ1コマの映像に対応したテープの位置をカウンターとして表示する(RCタイムコード、59ページ)。	より正確な編集をしたいとき、またはテープトップからの録画時間を知りたいとき。
 オートTVオン	切	テレビの電源を自動的に入れない。	詳しくは23ページ。
	入	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの電源を入れる。	
 TV入力切りかえ	ビデオ1	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの入力を切り換える。	詳しくは23ページ。
	ビデオ2		
	ビデオ3		
	切	テレビの入力を切り換ええない。	
 メニュー文字サイズ	ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	通常はこの位置へ。
	2x	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	メニュー画面が見えにくいとき。

使いこなすーその他の使いかたー

メニューで設定を変える(つづき)

項目	設定	意味	どんなとき
ETC おしらせブザー	入	撮影スタート/ストップ時や、誤った操作をしたときにブザーが鳴る。	通常はこの位置へ。
	切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
ETC リモコン	入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	通常はこの位置へ。
	切	リモコンが働かない	他機のリモコンによって誤動作するときなど。
ETC 画面表示	パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	通常はこの位置へ。
	ビデオ出力 / パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	テレビで見るときに画面表示を出したいとき。
ETC インジケータ	バックライト切	表示窓のバックライトを消す。	電源を節約するとき。
	バックライト入	表示窓のバックライトをつける。	表示窓の表示が見えにくいとき。

LPモードについて

本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキで再生すると、映像や音声にノイズが出る場合があります。他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキのLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も同様です。

「明るい」または「バックライト入」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。

バッテリー以外の電源で使うときはパネルバックライトは自動的に「明るい」になり、インジケータは自動的に「バックライト入」になります。

このとき、メニューにパネルバックライト、インジケータの項目は表示されません。

電源スイッチが「ビデオ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
V バイリンガル	切	ステレオ音声または主 + 副音声で再生する。	詳しくは78ページ。
	メイン	モノラル音声または主音声で再生する。	
	サブ	副音声で再生する。	
V エディット	切	—	通常は必ずこの位置へ。
	入	編集時の画質劣化を低減する。	ダビング・編集で本機を再生機として使うとき。
V TBC	入	ジッター（再生時の画像の横ユレ）を低減する。	通常はこの位置へ。
	切	補正を止める。	画像の乱れ補正を止めたいとき。
V DNR	入	画像の色ノイズを目立たなくする。	通常はこの位置へ。
	切	—	動きの激しい画像で残像が目立つとき。

ご注意

- 「エディット」、「バイリンガル」、「TBC」、「DNR」は、再生時のみ働く機能です。
- 「画面表示」が「ビデオ出力パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

次のようなテープを再生するときには、「TBC」を「切」にしてください。

- ダビング等を繰り返した
- ゲーム機の信号などを記録した

電源をはずして5分以上たつと以下のメニュー項目はお買い上げ時の設定に戻ります。

「風音低減」、「リモコン」、「エディット」、「バイリンガル」その他のメニュー項目は、ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をはずしても設定を保持しています。

メニューで設定を変える(つづき)

電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
📷 デジタルズーム	入	ズームが18倍を超えるとデジタルズームが働く。(72倍まで)	通常はこの位置へ。
	切	デジタルズームを使用しない。(ズームは18倍まで)	デジタルズームで画質が低下するのを避けるとき。
📷 ワイドTV	切	—	通常はこの位置へ。
	ワイドシネマ	ワイドシネマモードで撮影する。	詳しくは28ページ。
	ワイドフル	ワイドフルモードで撮影する。	
📷 手ぶれ補正	入	手ぶれ補正が働く。	通常はこの位置へ。
	切	手ぶれ補正が働かない。	詳しくは44ページ。
📷 N.S.ライト	入	NIGHTSHOTライトを使用する。	詳しくは27ページ。
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
📷 風音低減	切	—	通常はこの位置へ。
	入	「ボコボコ」という風音(低音)を低減する。	風がある場所で撮影するとき。
📷 フォト	ノーマル	—	通常はこの位置へ。
	フェード	フェードフォトモードでフォト撮影する。	詳しくは30ページ。
	シャッター	シャッターフォトモードでフォト撮影する。	
📷 ORC設定		テープに最適な状態で録画設定する。	詳しくは51ページ。

項目	設定	意味	どんなとき
日時あわせ			時計を合わせ直すとき。 詳しくは73ページ。
デモモード	入	デモンストレーションを表示する。	本機の機能を一覧するとき。
	切	デモンストレーションを表示しない。	デモンストレーションを表示したくないとき。
時差補正		時差の設定をする。	詳しくは75ページ。
録画ランプ	入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	通常はこの位置へ。
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。	被写体に撮影していることを意識させたくないとき。

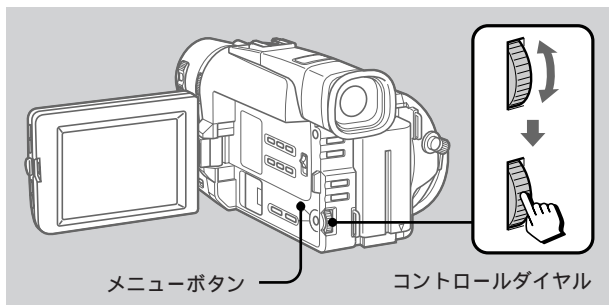
デモンストレーションは

- カセットが入っている場合はメニューで入/切ができません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」に設定されています。カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にすると約10分後にデモンストレーションが始まります。


- すぐに見るには、カセットを取り出してメニューで「入」を選び、メニュー画面を消します。電源を切ると自動的に「スタンバイ」に戻ります。
- カセットを入れると、デモンストレーションが中断されません。通常の撮影には影響ありません。デモンストレーションの設定は自動的に「スタンバイ」に戻ります。

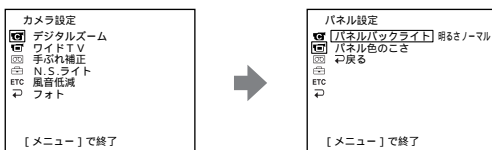
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、「NIGHTSHOT」が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。

液晶画面の色のこさを調節する

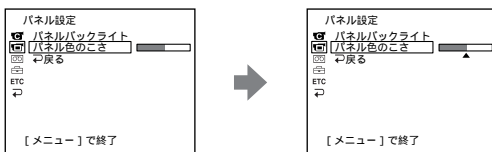


- 1 [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のときメニューボタンを押す。

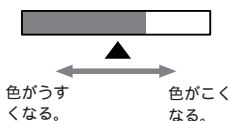
- 2 コントロールダイヤルを回して、アイコン「」を選び、ダイヤルを押す。



- 3 コントロールダイヤルを回し、「パネル色のこさ」を選び、ダイヤルを押す。



- 4 コントロールダイヤルを回し、色のこさを調節して、ダイヤルを押す。



- 5 メニューボタンを押す。
メニュー画面が消える。

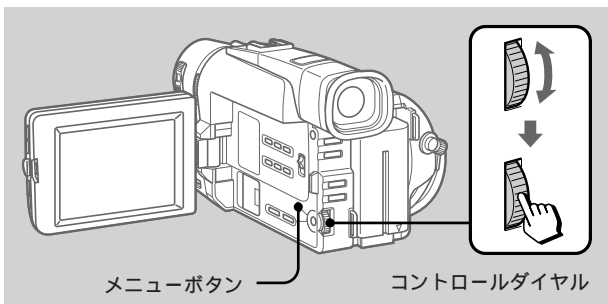
日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。




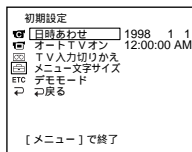
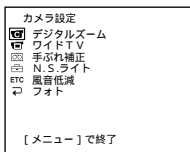
電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したとき。

ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

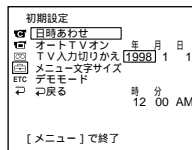
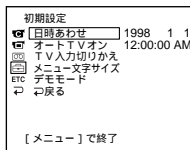


年 月 日 時 分の順で合わせます。

- 1 [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。
- 2 コントロールダイヤルを回してアイコン「」を選び、ダイヤルを押す。



- 3 コントロールダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、ダイヤルを押す。



使いこなすーその他の使いかたー

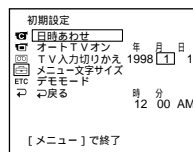
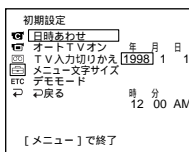
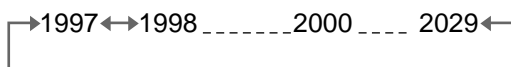
日付・時刻を合わせ直す(つづき)

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正
午は12:00:00PMと表示し
ます。

4 「年」を合わせる。

コントロールダイヤルを回して「年」を合わせ、ダイヤルを押す。

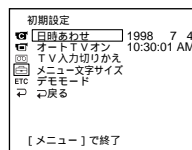
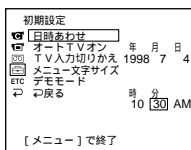
年表示は次のように変わる。



5 手順4と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

6 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にコントロールダイヤルを押す。時計が動き始める。



7 メニューボタンを押す。

メニュー画面が消え、時刻表示が出る。時刻表示を消すには、時刻ボタンを押す。

日付・時刻を確認する

日付を確認する→日付ボタンを押す。

時刻を確認する→時刻ボタンを押す。

日付と時刻を同時に確認する→日付ボタンと時刻ボタンを押す。

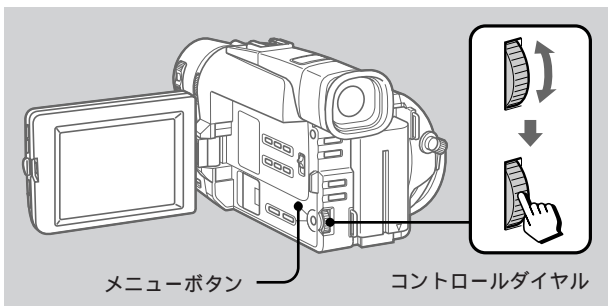
もう1度押すと消える。

時差補正

時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせるができます。また、時差を0に設定することにより、簡単にもとの場所の時間に戻すこともできます。

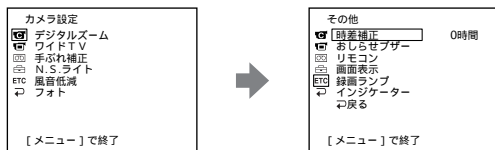
使う? 海外などの時差がある場所で撮影するときなど。

時刻が設定されていないと時差補正の設定はできません。

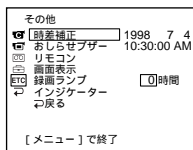


1 [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。

2 コントロールダイヤルを回してアイコン「ETC」を選び、ダイヤルを押す。



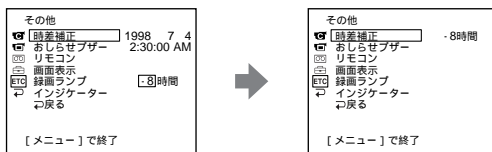
3 コントロールダイヤルを回して「時差補正」を選び、ダイヤルを押す。



使いこなすーその他の使いかたー

- 4** コントロールダイヤルを回して時差を設定し、ダイヤルを押す。

時刻も時差に合わせて変わる。



- 5** メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

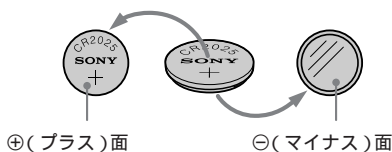
ボタン型リチウム電池を交換する

電源をつけたまま交換します。

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入/切に関係なく保持するためです。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

いつ使う?

電源スイッチを「カメラ」にするとファインダーに「ボタン型リチウム電池を取りかえてください」のメッセージが出るとき。

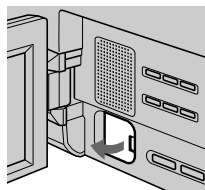


ボタン型リチウム電池について

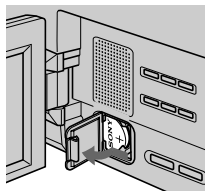
- ボタン型のリチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れてたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は1年もたないことがあります。

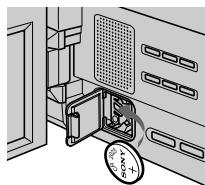
- 1 液晶画面を開け、ボタン型リチウム電池ぶたを開ける。



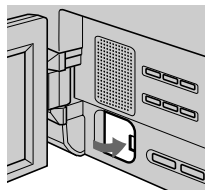
- 2 ボタン型リチウム電池を押し下げながら、引き出す。



- 3 新しいボタン型リチウム電池CR2025を⊕ (プラス) 面が見えるようにはめ込む。



- 4 ボタン型リチウム電池ぶたを閉める。



その他

使えるビデオカセットと記録・再生方式

記録・再生するときのテープの種類

本機ではHi8(ハイエイト)テープ**Hi8**とスタンダード8ミリテープ**8**が使えます。

Hi8(ハイエイト)テープ:

自動でHi8方式の録画 再生

スタンダード8ミリテープ:

自動でスタンダード方式の録画 再生

他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式:従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できません。

video Hi8 **XR** とは

video Hi8 XR*とは、video Hi8の画質を更に追求した機能で、詳細部分もより鮮明に録画再生することができます。

XR機で記録されたテープは、XR機で再生した時に最大の効果が得られます。

本機で録画したテープを従来のHi8機で再生したり、従来のHi8機で記録されたテープを本機で再生した時は、通常のHi8画質になります。

* XRはExtended Resolutionの略

著作権信号について

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。このようなカセットを録画しようとすると液晶画面やファインダーに「ダビングプロテクトされています録画できません」の表示が現れます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

音声多重記録テープを再生するとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。メニューは電源スイッチを「ビデオ」にして出します。(65ページ)

メニューの「バイリンガル」の設定	スピーカーから聞こえる音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声 + 副音声
「メイン」にする	モノラル音声	主音声
「サブ」にする	不自然な音声になります	副音声

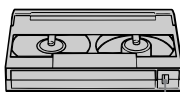
本機では二重音声は記録できません。

ご注意

次の場合、音声はモノラルです。

- 本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合。
- モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合。

間違っても消さないためにカセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。



録画できない 録画できる
(誤消去防止状態)

“インフォリチウム”バッテリーをご利用いただくために

バッテリー残量はこうして計算されるビデオカメラレコーダー使用時の消費電力は、その使用状況(オートフォーカスがどのような働きをしたかなど)に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なります。

“インフォリチウム”バッテリーは、ビデオカメラレコーダーの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、電池残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

ご注意

残量時間が5～10分と表示されているときでも、使用環境によっては液晶画面またはファインダーに☹が点滅することがあります。

より正しいバッテリー残量を得るにはビデオカメラレコーダーを「撮影スタンバイ」にして、静止している被写体に約30秒以上向けたままにしておいてください。このとき、ビデオカメラレコーダーは動かさないでください。

もし、正しい残量を表示していないと思われる場合は、バッテリーを再度満充電してください。ただし、高温/低温での長時間使用や、何度も充電を繰り返したバッテリーは、満充電をしても正しい表示に戻らないことがあります。

取扱説明書に記載されている連続撮影時間と残量表示が異なる理由

撮影時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると撮影時間は特に短くなります。



取扱説明書に記載の連続撮影時間は、満充電(または実用充電)したバッテリーを摂氏25度の環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続撮影時間とは異なることがあります。

故障かな？と思ったら




修理にお出しになる前に、もう1度点検してみしましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、ソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

ビューファインダーや液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。86ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none">電源スイッチが「カメラ」になっていない。テープが終わりになっている。カセットが誤消去防止状態になっている。テープがヘッドドラムに貼りついている(結露)。	<ul style="list-style-type: none">「カメラ」にする。巻き戻すか、新しいテープを入れる。そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	13 11、21 78 87
すぐに撮影が止まる。	スタート/ストップモードスイッチが「  」または「5秒」になっている。	スタート/ストップボタンを押すごとに撮影を始める/止めるようにするときは、「  」にする。	15
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	1度スタンバイスイッチを下げたから、もう1度上げる。	13
インテリジェントアクセサリシューにアクセサリを付けて本機を使用しているとき、電源が入ったり切れたりする。	ACパワーアダプターを使っている。	バッテリーを使用する。	—
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	12
手ぶれ補正が動かない。	<ul style="list-style-type: none">手ぶれ補正スイッチが「切」になっている。ワイドTVボタンで「ワイドフル」を選んでる。	<ul style="list-style-type: none">「入」にする。「ワイドフル」にすると手ぶれ補正は働きません。	44 28
オートフォーカスが動かない。	<ul style="list-style-type: none">手動ピント合わせになっている。オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	<ul style="list-style-type: none">フォーカススイッチを「自動」にする。手動でピントを合わせて撮影する。	43 43

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
フェーダーボタンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> スタート/ストップモードスイッチが「5秒」または「」になっている。 デジタルエフェクト機能が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「」にする。 解除する。 	15 32
ファインダー内に  が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	87
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	17
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	—	—
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	—	—
画面に白点が出ることもある。	スローシャッターやキャンドルモードのときに出る現象で、故障ではありません。	—	—
液晶画面やビューファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	71
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	27

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 テープが終わりにになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ビデオ」にする。 テープを巻き戻す。 	19 21
データコードが---- -- --に なっている。	インデックスの打ち込みや消去をしたところを再生している。	—	53

故障かな？と思ったら(つづき)

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
画像がぼけたり、映らな かったりする。	• テレビのビデオ用チャンネルが 正しく調整されていない。	• 調整し直す。	22
	• メニューの「エディット」が「入」 になっている。	• 「切」にする。	65
	• ビデオヘッドが汚れている。	• 別売りのクリーニングカ セットできれいにする。	87
音声が小さい。または 聞こえない。	• メニューの「バイリンガル」を「サ ブ」にしてステレオで記録された テープを再生している。	• 「バイリンガル」を「切」にす る。	65
	• 音量を最小にしている。	• 音量を大きくする。	20

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ / カメラにしても動作しな い。	• バッテリーが消耗している / 入っていない / 消耗が近い。	• 充電されたバッテリーを取 り付ける。	8、9
	• ACパワーアダプターのプラグが コンセントからはずれている。	• コンセントに差し込む。	4、64
エンドサーチが働かない。	• 撮影後にカセットを取り出した。	—	18
	• カセットを入れてからエンド サーチボタンを押すまでに、1 度も撮影していない。	—	18
バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮っ ている。	—	—
	• 充電が不十分。	• 十分に充電する。	9
	• バッテリーそのものの寿命。	• 新しいバッテリーに交換す る。	8
カセットが取り出せない。	• 電源(バッテリーやACパワーア ダプター)がはずれている。	• 電源をきちんと接続する。	64
	• バッテリーが消耗している。	• 充電されたバッテリーを取 り付ける。	8、9
☐や▲が点滅し、カセット取 出しスイッチ以外働かな い。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間 してからもう1度入れ直す。	87

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
付属のワイヤレスリモコンが動かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	65
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	—
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	94
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	94
日付または時刻表示が「--:--」になる。	—	日付、時刻を合わせ直す。	73
外部入力しているのに液晶画面やTVに画像が映らない。	メニューの「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」になっている。	「パネル」にする。	65
ピープ音が5秒間鳴りつづける。	•結露している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	87
	•本機に異常が発生している。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。	—
バッテリー充電中、表示窓に何も表示が出ない。または表示が点滅する。	•ACパワーアダプターが外れている。	•電源をきちんと接続する。	9
	•バッテリーが故障している。	•テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。	—

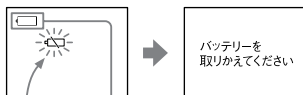
警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、()内のページにあります。

- 対面撮影中はお知らせメッセージは出ません。
- 表示は実際には白色です。
- ♪はお知らせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

ファインダー (お知らせメッセージ)



遅い点滅 バッテリー残量表示

バッテリー残量表示について
InfoLITHIUM インフォリチウム ™ バッテリーをお使いのときは分表示も出ます。



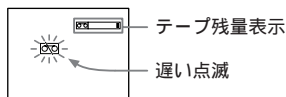
(残量表示が□になると⊗マークが点滅する。)

バッテリーの寿命

“インフォリチウム”
バッテリーをお使いの
ときのみ表示されま
す。

このバッテリーは
古くなりました
取りかえてください

テープ残量



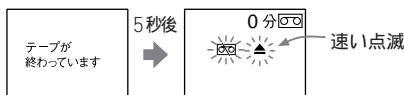
テープ残量表示について



→ 5分 ⊗ → ... → 1分 ⊗ → 0分 ⊗

(残量表示が「5分 ⊗」になると⊗マークが点滅する。)

♪テープの終わり



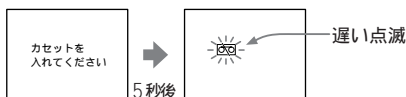
日時・時刻の未設定(73ページ)

メニューで
日付・時刻を
あわせてください

ボタン型リチウム電池の消耗 / ボタン型リチウム電池が入っていない(77ページ)

ボタン型
リチウム電池を
取りかえてください

♪カセットが入っていない

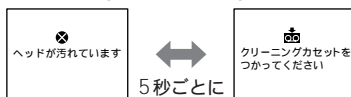


♪カセット誤消去防止(78ページ)

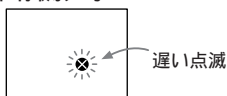


カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ(87ページ)

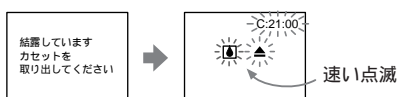


対面撮影時



クリーニングカセットできれいにする。

♪結露(87ページ)

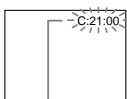


テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

自己診断機能が働いている

(86ページ)

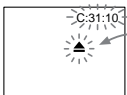
本機が正しく動作していないとき、自己診断表示機能で本機の状態をお知らせしています。「C:□□:□□」のような表示がでたら86ページをご覧ください。



自己診断表示

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



速い点滅

♪コピー禁止(78ページ)

ダビングプロテクト
されています
録画できません

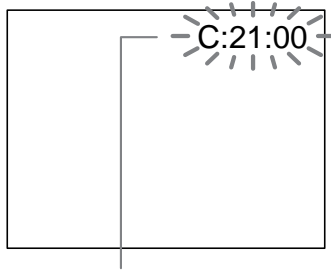
自己診断表示—アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機は正しく動作していないときに、ファインダー（または液晶画面）にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

ファインダー（または液晶画面）



自己診断表示

「C:□□:□□」:

お客様自身で正常に戻せる状態

「E:□□:□□」:

テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にご相談していただく状態

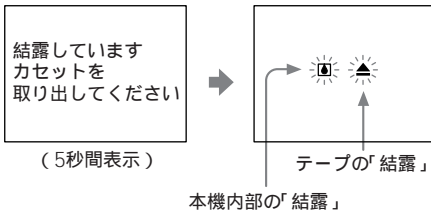
表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	87
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	87
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	<ul style="list-style-type: none"> •カセットを入れ直し、再度操作し直す。 •電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。 	— —
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターまたはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	—

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起ると、ファインダーや液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、カセット取出しスイッチ以外は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても▲が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかつたり、ノイズの多い再生画像になつたりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLD/V8-25CLDRを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ファインダー内または液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「☼クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



初期 → 末期

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにするをおすすめします。

結露が起りやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起りにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャン FM方式(SP/LP独立ヘッド)
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
録画/再生時間	SPモード:2時間 LPモード:4時間(E6/P6-120使用時)

早送り、巻き戻し時間	約5分(E6/P6-120使用時)
撮像素子	CCD固体撮像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー(カラー)
ズームレンズ	18倍(光学) 72倍(デジタル) f=4.1~73.8mm (35mmカメラ換算では 47.2~850mm) F1.4~3.0 フィルター径37mm

色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	5ルクス(F1.4) 0ルクス(NIGHTSHOT時)

被写体照度範囲	5~100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

S映像端子	入力/出力自動切り換え 4ピンミニDIN 輝度信号:1Vp-p、75 不平衡 色信号:0.286Vp-p、75 不平衡
映像端子	入力/出力自動切り換え ピンジャック(1) 75 不平衡
音声端子	入力/出力自動切り換え ピンジャック(L、R) 入力時:327mV、 インピーダンス47k 以上 出力時:327mV、(47k 負荷時) インピーダンス 2.2k 以下

RFU DC出力端子	特殊ミニジャック DC5V
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック(Ø3.5)
LANC端子	ステレオミニミニジャック(Ø2.5)
マイク入力端子	ステレオミニジャック 0.388mV、低インピーダンスマイク用 DC2.5~3.5V、出力インピーダンス6.8k(Ø3.5)

インテリジェントアクセサリースーシュー端子	8ピン特殊コネクター
LASER AVLINK	映像/音声 IR空間電送EIAJ準拠 音声キャリア L ch:4.3 MHz R ch:4.8 MHz

液晶画面

画面サイズ	4型
有効画面領域	80.7mm × 58.9mm(幅×高さ)

使用液晶パネル	TFT(薄膜トランジスタアクティブマトリクス)駆動
総ドット数	112,086(479×234)ドット 横479×縦234

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力(バッテリー使用時)	ビューファインダーを使つての カメラ録画時:2.7W 液晶画面を使つてのカメラ録画時:3.8W LASER AVLINKを使つての再生時(液晶画面切時):3.3W
動作温度	0 ~+40
保存温度	-20 ~+60
最大外形寸法	110 × 125 × 213mm (幅×高さ×奥行き)

本体質量	約1.0kg(本体のみ)
撮影時総質量*	約1.1kg *バッテリーNP-F330、ボタン型リチウム電池CR2025、テープ(E6/P6-120)含む。

内蔵マイクロホン	ステレオ
内臓スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	AC/パワーアダプター AC-L10A(1) バッテリーパック NP-F330(1) ワイヤレスリモコン(1) 単3形乾電池(リモコン用)(2) AV接続ケーブル(1) ボタン型リチウム電池CR2025(本体に装着済み)(1) 撮り方ビデオ(1) 取扱説明書(1) 安全のために(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)

ACパワーアダプター

電源	AC100~240V、50/60Hz
定格出力	DC8.4V、1.5A
動作温度	0 ~+40
保存温度	-20 ~+60
最大外形寸法	約125 × 39 × 62mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約280g(本体のみ)
電源コードの長さ	約2m
本体接続コードの長さ	約2m

バッテリーパック NP-F330

電圧	7.2V
容量	5.0Wh(700mAh)
種類	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障がどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター(本書の裏面参照) お買い上げ店、または添付の"ソニーご相談窓口のご案内"にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき


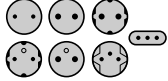

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10Aは、AC100V ~ 240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	不要です。 ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

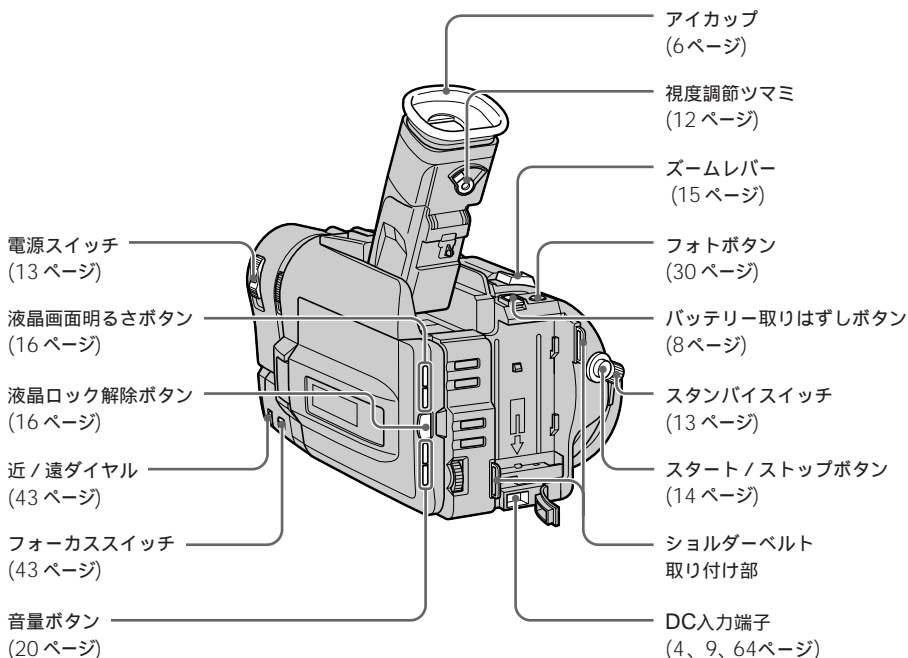
日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国または地域(五十音順)

- アメリカ合衆国
 - エクアドル
 - エルサルバドル
 - カナダ
 - キューバ
 - グアテマラ
 - グアム
 - コスタリカ
 - コロンビア
 - スリナム
 - セントルシア
 - 大韓民国
 - 台湾
 - チリ
 - ドミニカ
 - トリニダードトバゴ
 - ニカラガア
 - ハイチ
 - パナマ
 - バミューダ
 - バルバドス
 - フィリピン
 - プエルトリコ
 - ベネズエラ
 - ペルー
 - 米領サモア
 - ボリビア
 - ホンジュラス
 - ミクロネシア
 - ミャンマー
 - メキシコ
- (NHK文研月報による)

各部のなまえ

使いかたの説明は、()内のページにあります。

本体



デモンストレーションについてメニューで設定しますが以下の手順でもデモンストレーションが見られます。

ただしNIGHTSHOTが「入」になっていると、デモンストレーションは見られません。

1. カセットを取り出して、電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

3. ▶再生ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

デモンストレーションが出ないようにするには

1. 電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
3. □停止ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

ビデオ操作ボタン (21 ページ)



電源スイッチを「ビデオ」にすると
ボタン部分が点灯します。

エディットサーチボタン
(18 ページ)

LASER AVLINKボタン
(23 ページ)

レンズカバー
(13 ページ)

録画 / バッテリーランプ
(14 ページ)

赤外線発光部
(23、27 ページ)

内蔵ステレオマイク

インテリジェント
アクセサリ－シュー

NIGHTSHOT
スイッチ
(27 ページ)

表示窓
(96 ページ)

三脚用ネジ穴 (底面)
(7 ページ)
ネジの長さが6.5mm未
満の三脚をお使いくださ
い。ネジの長い三脚では
しっかり固定できず、本
機を傷つけることがあり
ます。

リモコン受光部
(94 ページ)

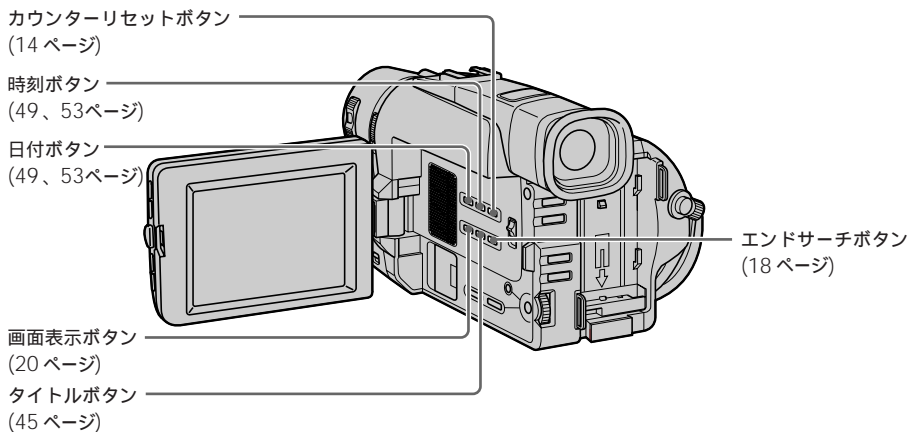
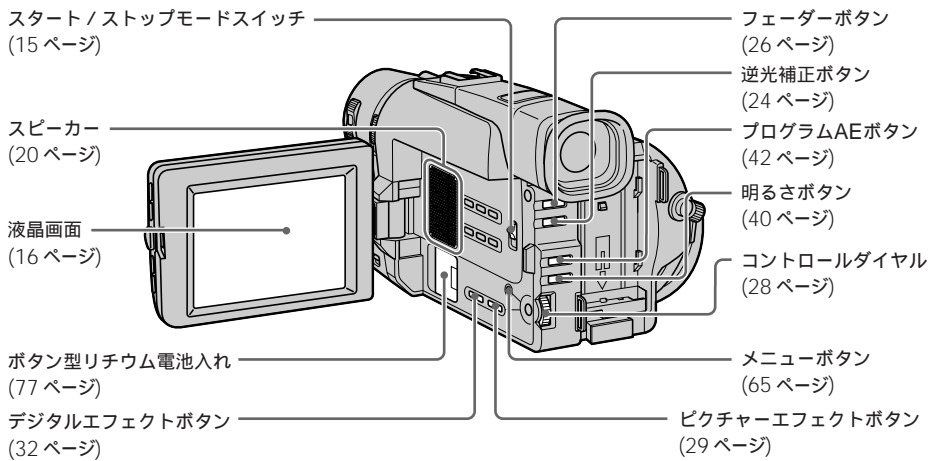
そ
の
他

インテリジェントアクセサリ－
シューについて

- 別売りの専用マイクやビデオ
ライトなどをお使いにな
ると、本機から電源を供給でき
ます。
- 本機のスタンバイスイッチに
連動して、アクセサリ－の電
源の入 / 切ができます。
(お使いになるアクセサリ－
の取扱説明書を合わせてご覧
ください。)

- 取り付けたアクセサリ－が外
れて落ちたりしないように、
外れにくい構造になっていま
す。アクセサリ－を取り付け
るときは、押しながら奥まで
差し込み、取付ネジを確実に
締め付けてください。
- アクセサリ－を取りはずす
ときは、取付けネジをゆるめ、
上から押しながらはずしく
ださい。

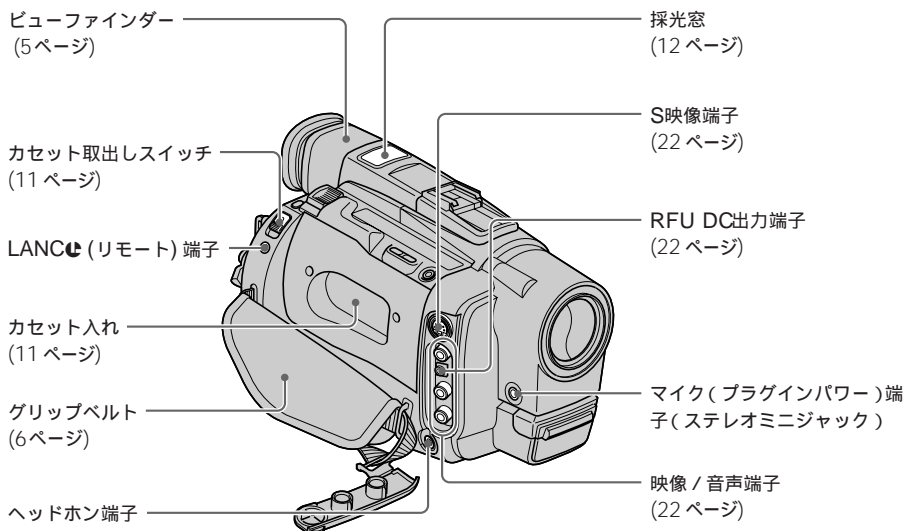
各部のなまえ(つづき)



この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。



ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。



LANC (リモート) マークについて

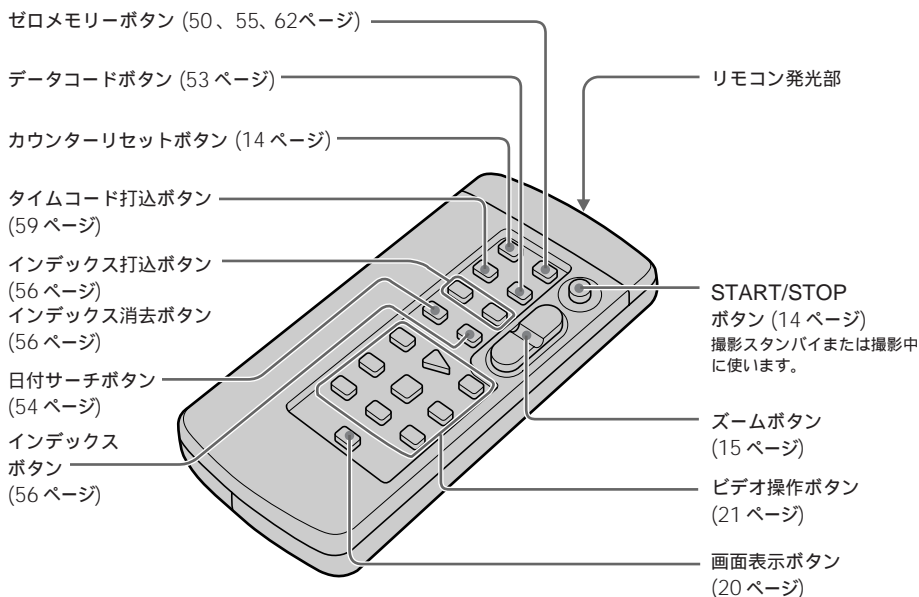
☛は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

別売りの外部マイクを使う場合、マイク (プラグインパワー) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2ピンプラグのマイクの場合は、DC出力端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。この場合、風音低減機能は働きません。

ヘッドホンを使うとスピーカーから音は出ません。

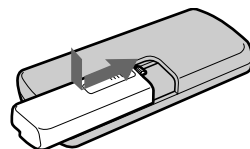
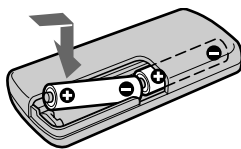
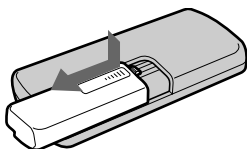
各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモコン



電池の入れかた

- 1 押しながらずらす。
- 2 入れる。
- 3 元に戻す。

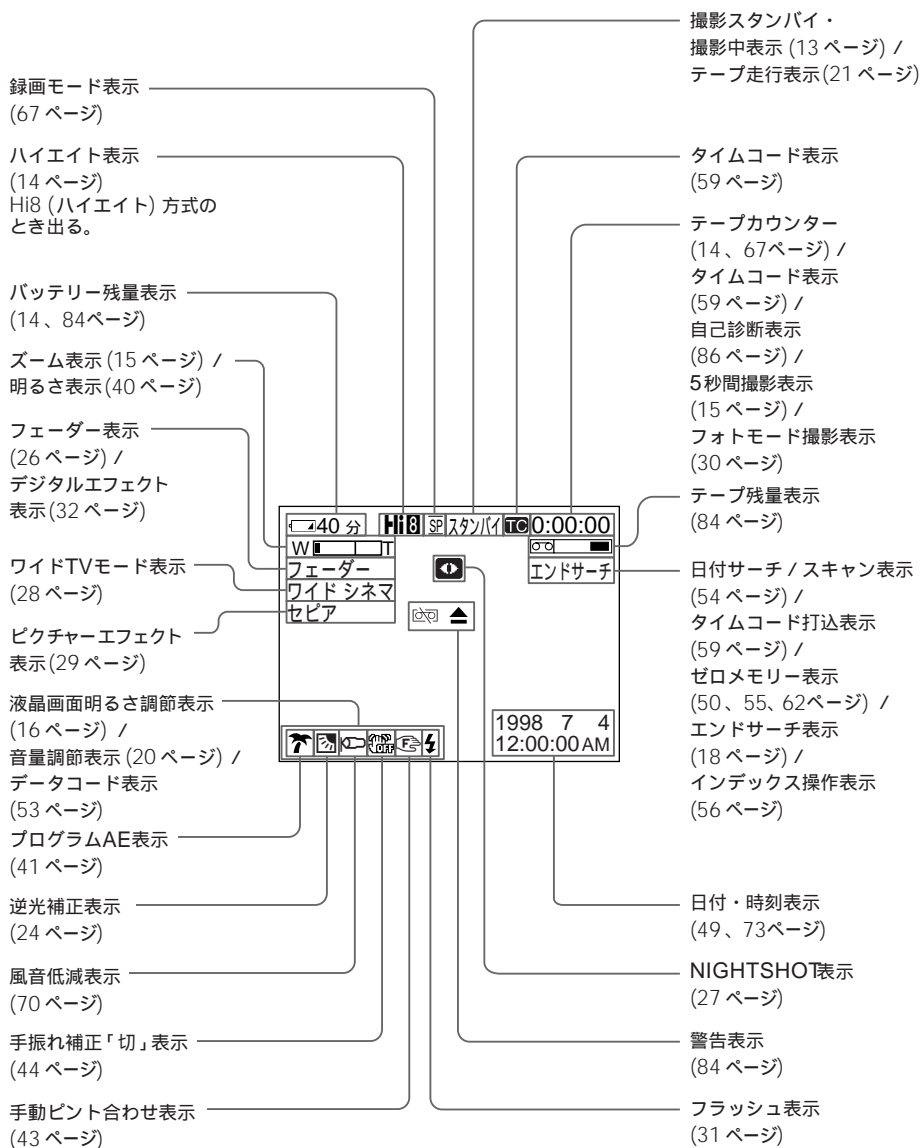


リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモード

イッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示



その他

各部のなまえ(つづき)

表示窓の表示

警告表示
(84ページ)

ハイエイト表示
(14ページ)
Hi8(ハイエイト)方
式のとき出る。

録画モード表示
(67ページ)

テープカウンター表示
(14ページ) /
タイムコード表示
(59ページ) /
データコード表示
(53ページ) /
日付・時刻表示
(49、73ページ) /
自己診断表示
(86ページ) /
バッテリー残量表示
(9、14、84ページ)



データコード表示
(53ページ)

タイムコード表示
(59ページ)

満充電表示
(9ページ)

バッテリー残量表示
(9、14、84ページ)

カ行

逆光補正 ...24ページ

逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ...13ページ

「撮影を待機する・準備する」という意味。スタンバイスイッチを上げ、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

自動ピント合わせ...43ページ

横方向に走査する映像信号からピントを検出する機能。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがある。

視度調節...12ページ

ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かす、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

タ行

タイムコード...RCタイムコードのこと

データコード...53ページ

テープを録画した日付(年・月・日)と時刻(時・分・秒)をテープに記録する機能。再生時、必要に応じて画面上に表示できる。後から撮影日時を確認する場合などに使える。

手ぶれ補正 ...44ページ

カメラの揺れを感知して、その揺れを補正する機能。手ぶれ補正を使用しても画質や画角、消費電力は変わらない。

ナ行

ノイズ

静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

フレーム

テレビ画像は1秒間に30コマで構成されており、1コマを1フレームという。RCタイムコードはこの1フレームに対応した番号。

プログラムAE ...41ページ

被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には7種類のモードがある。シャッター速度やアイリス(絞り)をモードにより自動で調節する。

ヘッド...87ページ

映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード...94ページ

リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3の3種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

ワ行

ワイドTVモード ...28ページ

再生したときにワイド画面(横:縦=16:9)になるように撮影するときの設定。ワイドシネマ、ワイドフルの2種類がある。

ワイドシネマ

横縦比4:3の画像の上下に黒い帯を入れて横縦比を16:9にしてテープに記録する。映る範囲は狭くなるがふつうのテレビで再生したときに横縦比16:9で再生される。

ワイドフル

横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

用語解説(つづき)

アルファベット順

エーエフエムハイファイ

AFM Hi-Fiステレオ...78ページ

スタンダード方式8ミリビデオでAFM Hi-Fiモノラル方式である標準音声トラックをステレオ化したもの。臨場感にあふれ、立体感のある明瞭度の高いステレオ音声。

ディーエヌアール

DNR...69ページ

デジタル ノイズ リダクション
Digital Noise Reductionの略。フィールドメモリーを利用して前後の映像信号を合成してノイズを削減する機能。再生時の色信号とカメラ録画時のノイズの削減に大いに役立つ。

アイディーワン

ID-1方式...28ページ

ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名称。

レーザー エーブイリンク

LASER AVLINK...23ページ

赤外線 で映像と音声の送受信をおこなうシステム。

エルピーエスピー

LP/SPモード...67ページ

ロング プレイング モード スタンダード プレイング モード
Long playing modeとStandard playing modeの略でテープスピードモードの名称。LPモードはSPモードの録画時間の2倍になる。

ナイトショット

NIGHTSHOT...27ページ

夜間赤外線を利用して明かりのない暗い場所でも目に見えないものを撮影できる機能。

エヌティーエスシー

NTSC方式...89ページ

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のビデオでは再生できない。海外で本機を使うときは、ご注意ください。

オーアールシー

ORC設定...51ページ

テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質で録画する機能。一度設定すればテープを出さないかぎり設定は保持される。

アールシー

RCタイムコード(タイムコード)...59ページ

リライタブル コンシューマー
RCタイムコードとはRewritable Consumerタイムコードの略。1コマ1コマの映像に対応したテープの位置を、時・分・秒・フレーム単位の連続した番号でテープに記録する機能。映像とカウンター数値が一致しているので、正確なカウンターとして使える。

RCタイムコードは、民生用製品独自の8ミリタイムコードで、業務用ビデオの8ミリタイムコードとの互換性はありません。

アールエフユー

RFUアダプター...22ページ

ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変換して、テレビの1または2チャンネル(国内仕様の場合)で再生できるようにするもの。

エス

S映像端子...22ページ

映像信号を構成する色信号と輝度(白黒)信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。Hi8(ハイエイト)方式に適している。

ティーベース

TBC...69ページ

タイム ベース コレクター
Time Base Correctorの略。メカニズムのトルク変動によって発生する映像信号の時間軸誤差 - ジッター(画像の微妙な横ユレ)を、デジタル技術を用いて、正しく補正させる機能。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで記録したテープを再生するときに、大いに役立つ。

索引

ア行

明るさ調節	40
インサート編集	62
インデックス	56
インテリジェント アクセサリーシュー	91
“インフォリチウム” バッテリー	79
液晶画面	16
エディット	60
エディットサーチ	18
エンドサーチ	18、21
オーバーラップ	25
オールドムービー	39
おしらせブザー	68
お知らせメッセージ	84
お手入れ	87
音声多重テープ	78

カ行

海外で使うとき	89
外部マイク(別売り)	93
カウンター	14
カセットの入れかた	11
画面表示	20
カラーテレビ方式	89
逆方向再生	21
記録・再生方式について	78
グリップベルト	6
警告表示	84
結露	87
広角	15
高速アクセス	21
故障かな?と思ったら	80
誤消去防止ツマミ	78

サ行

再生	19
撮影が終わったら	17
撮影する	13
撮影内容の確認	18
サブ(音声)	69
三脚	7
自己診断表示	86
時差補正	75
実用充電	9
視度調節	12
充電	9

主音声	78
手動ピント合わせ	43
ズーム	15
スタート/ストップモード	15
スタンダード8ミリ方式	78
スチル	32
ステレオ放送テープ	78
スローシャッター	38
赤外線送信	23
接続(テレビで見るとき)	22
(編集のとき)	60
ゼロメモリー	50、55、62

タ行

タイトル	45
タイムコード	67
対面撮影	16
地面撒り防止	15
使えるビデオカセットテープ	78
つなぎ撒り	14
データコード	53
テープ残量表示	84
テープの終わり表示	84
手ぶれ補正	44
デモンストレーション	71
テレビで見る	22
電源(家庭用コンセント)	64
(自動車の電源)	64
(バッテリー)	8
撮る姿勢	6
トレイル	37

ナ行

二重音声放送テープ	78
-----------	----

ハ行

倍速再生	21
バイリンガル	69
バッテリー	8
バッテリー残量表示	84
ピクチャーエフェクト	29
日付・時刻合わせ	73
日付・時刻の記録	49
ピント合わせ	43
ファインダーの表示	95
フェーダー	25
フェードイン・フェードアウト	25

フォーカス	43
フォトモード撮影	30
副音声	78
フラッシュモーション	33
プログラムAE	41
ヘッド	87
ヘッドホン端子	93
ヘッド汚れ表示	87
編集	60
望遠	15
ボタン型リチウム電池	77

マ行

満充電	9
メニュー	65
メイン(音声)	69
モザイクフェーダー	25
モノラル	78

ラ行

リモコン受光部	91
ルミネンスキー	35
レックレビュー	18
録画モード	67

ワ行

ワイドTV	28
ワイプ	25
ワイヤレスリモコン	94

アルファベット順

ACパワーアダプター	9
AFM Hi-Fiステレオ方式	78
AV接続ケーブル	22、60、61
DNR	69
Hi8(ハイエイト)方式	78
ID-1方式	28
LANC端子	93
LASER AVLINK	23
NIGHTSHOT	27
NTSC方式	89
ORC設定	51
RCタイムコード	59
RFUアダプター	22
S映像端子	22、60、61
TBC	69

こんなときはこの機能

撮影するとき

撮影状況に合わせたい

明るい

- スキー場、真夏の海岸
ビーチ&スキーモード(41ページ)
- 舞台、結婚式
スポットライトモード(41ページ)
- 白い服の人物が白い壁の前にいる
逆光補正(24ページ)
- 背後に光があり顔が暗くなる
逆光補正(24ページ)

暗い

- 夜景、夕景、花火
サンセット&ムーンモード(41ページ)
- 暗い場所でも明るく撮りたい
キャンドルモード(41ページ)
- 明りの無い場所で撮りたい
NIGHTSHOT(27ページ)

風が強い

- メニュー：風音低減(65ページ)

撮りたいところが多い

- 風景モード(41ページ)

列車から窓の外を撮る

- 風景モード(41ページ)

被写体の動きが速い

- ゴルフスイングなど
スポーツレックスモード(41ページ)

三脚が使える

- 手ぶれ補正解除(44ページ)

画像をこうしたい

より自然な感じにしたい

- 手ぶれ補正解除(44ページ)

効果的な場面転換をしたい

- フェードイン、フェードアウト(25ページ)

被写体を引き立てたい

- ソフトポートレートモード(41ページ)

映画のように横長の画像にしたい

- ワイドTVモード(28ページ)

写真のような静止画を撮りたい

- フォトモード(30ページ)

意図的にピントを合わせたい

- 手動ピント合わせ(43ページ)

タイトルを出したい

- タイトル機能(45ページ)

ズーム時の画質の低下を抑えたい

- メニュー：デジタルズーム(65ページ)

画像にデジタル処理をしたい

- ピクチャーエフェクト(29ページ)
- デジタルエフェクト(32~39ページ)

テープの状態に合わせて録画したい

- メニュー：ORC設定(65ページ)

再生するとき

撮影した日時を確認したい

- データコード(53ページ)

見たい場面にすばやく戻したい

- ゼロメモリー(55ページ)

各場面の頭出しをしたい

- インデックス機能(56ページ)

モノラル音声、副音声で再生したい

- メニュー：バイリンガル(65ページ)

画面のゆれを補正したい

- メニュー：TBC(65ページ)

画像の色ノイズを軽減したい

- メニュー：DNR(65ページ)

液晶画面の色が変

- 液晶画面の色のこさを調節する
(72ページ)

ご案内

ソニーではお客様の技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになって不明な点や技術的な相談は下記

までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：0574-28-8088

受付時間：月～土曜日 午前9時～午後7時

(ただし、年末、年始、祝日を除く)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さまご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

ご相談になるときは次のことをお知らせください

型名：CCD-TRV95K

故障の状態：できるだけ詳しく

お買い上げ年月日